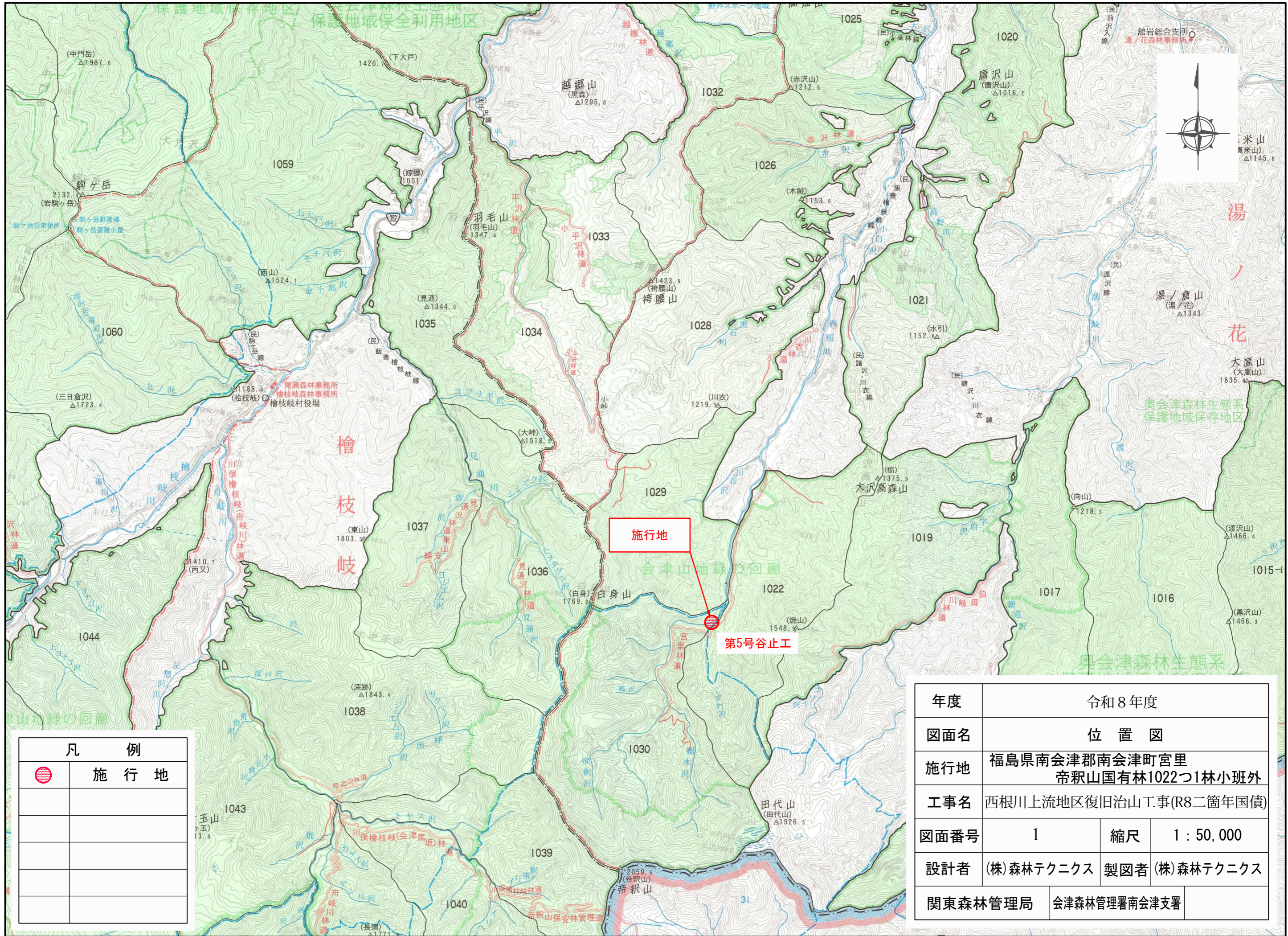


令和 8 年度

施行地	福島県南会津郡南会津町宮里字帝釈山国有林1022つ1林小班外									
工事名	西根川上流地区復旧治山工事									
主要工種	溪間工	数量	2333.8m ³	溪間安定面積	10,745ha	貯砂量	15,500m ³	現 溪床勾配	7.1%	
集水面積	1,080.0ha	崩壊の方位	-	山腹平均傾斜	急峻	海拔高	1,121 m	計画勾配	5%	
		有林地	92%	無林地	8%	年降雨量	1,560 mm	最大日雨量	237.5 mm	
地質	黒雲母花崗岩、角閃石黒雲母花崗岩及び角閃石黒雲母花崗閃緑岩									
関東森林管理局 会津森林管理署南会津支署										

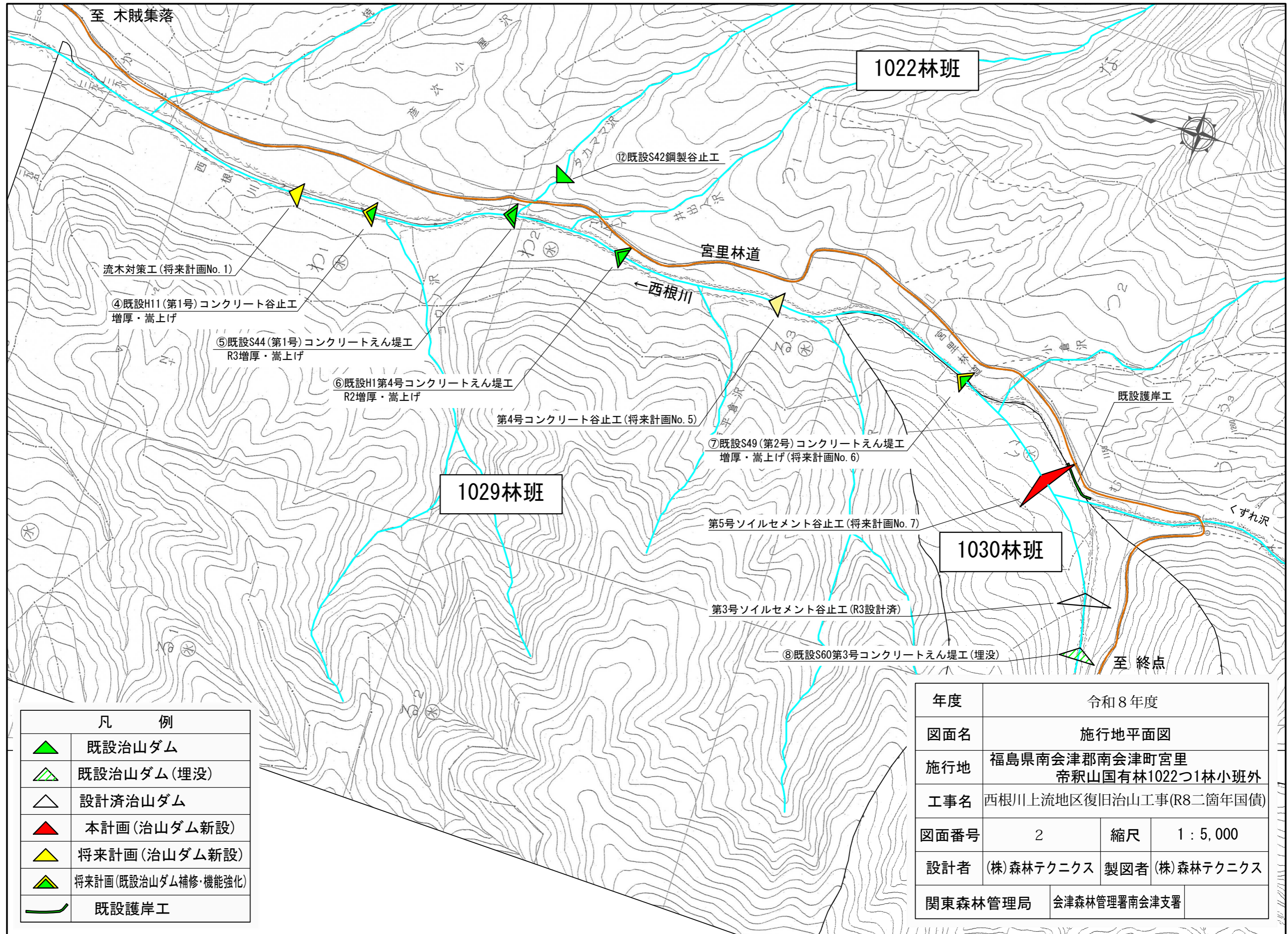
図 面 目 録

図面番号	図 面 名	枚 数
1	位 置 図	1
2	施 工 地 平 面 図	1
3	平 面 図	1
4	溪 床 縦 断 面 図	1
5	構 造 図 ①	1
6	構造図②(上流外部保護材割付図)	1
7	構造図③(下流外部保護材割付図)	1
8	床 掘 図	1
9	間 詰 図	1
10	付 帯 施 設 計 画 図	1
11	既 設 護 岸 工 取 壊 し 計 画 図	1
12	上 流 外 部 保 護 材 標 準 図	3
13	下 流 外 部 保 護 材 標 準 図	2
14	コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 規 格 図	2
15	巨 石 練 石 張 工 標 準 図	1
16	丸 太 残 存 型 枠 工 標 準 図	1
17	巨 石 護 床 工 標 準 図	1
計		21



凡 例	
	施行地

年度	令和8年度		
図面名	位置図		
施行地	福島県南会津郡南会津町宮里 帝釈山国有林1022つ1林小班外		
工事名	西根川上流地区復旧治山工事(R8二箇年国債)		
図面番号	1	縮尺	1 : 50,000
設計者	(株)森林テクニクス	製図者	(株)森林テクニクス
関東森林管理局	会津森林管理署南会津支署		



至 木賊集落

1022林班

⑫既設S42鋼製谷止工

宮里林道

←西根川

流木対策工(将来計画No. 1)

④既設H11(第1号)コンクリート谷止工
増厚・嵩上げ

⑤既設S44(第1号)コンクリートえん堤工
R3増厚・嵩上げ

⑥既設H1第4号コンクリートえん堤工
R2増厚・嵩上げ

第4号コンクリート谷止工(将来計画No. 5)

1029林班

⑦既設S49(第2号)コンクリートえん堤工
増厚・嵩上げ(将来計画No. 6)

既設護岸工

1030林班

第5号ソイルセメント谷止工(将来計画No. 7)

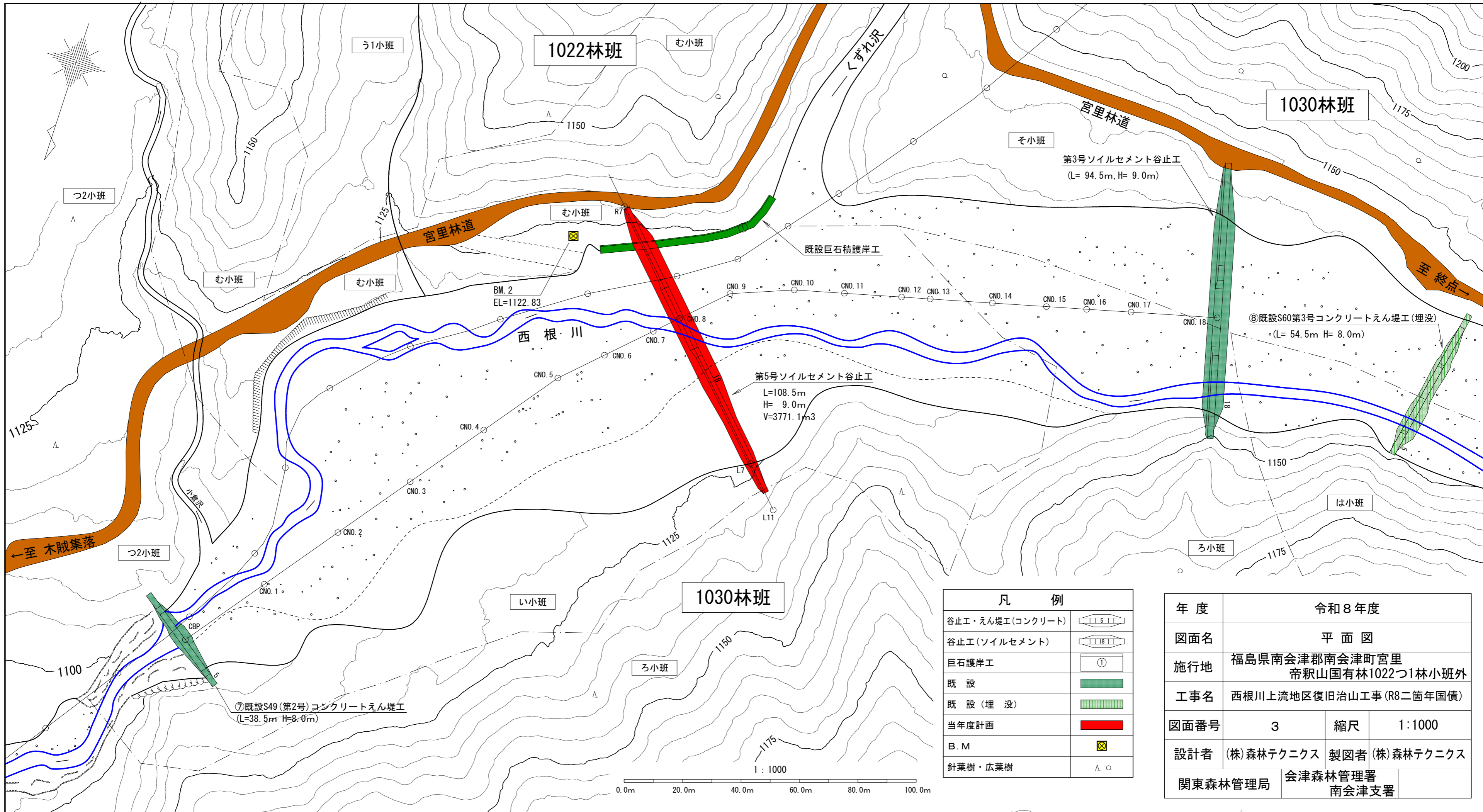
第3号ソイルセメント谷止工(R3設計済)

⑧既設S60第3号コンクリートえん堤工(埋没)

至 終点

凡 例	
	既設治山ダム
	既設治山ダム(埋没)
	設計済治山ダム
	本計画(治山ダム新設)
	将来計画(治山ダム新設)
	将来計画(既設治山ダム補修・機能強化)
	既設護岸工

年度	令和8年度		
図面名	施行地平面図		
施行地	福島県南会津郡南会津町宮里 帝釈山国有林1022つ1林小班外		
工事名	西根川上流地区復旧治山工事(R8二箇年国債)		
図面番号	2	縮尺	1 : 5,000
設計者	(株)森林テクニクス	製図者	(株)森林テクニクス
関東森林管理局	会津森林管理署南会津支署		



1022林班

1030林班

1030林班

宮里林道

宮里林道

西根川

凡 例	
谷止工・えん堤工(コンクリート)	
谷止工(ソイルセメント)	
巨石護岸工	
既 設	
既 設 (埋 没)	
当年度計画	
B. M	
針葉樹・広葉樹	

年度	令和8年度		
図面名	平面図		
施行地	福島県南会津郡南会津町宮里 帝釈山国有林1022つ1林小班外		
工事名	西根川上流地区復旧治山工事(R8二箇年国債)		
図面番号	3	縮尺	1:1000
設計者	(株)森林テクニクス	製図者	(株)森林テクニクス
関東森林管理局	会津森林管理署	南会津支署	

0.0m 20.0m 40.0m 60.0m 80.0m 100.0m

1:1000

⑦既設S49(第2号)コンクリートえん堤工
(L=38.5m H=8.0m)

第5号ソイルセメント谷止工
L=108.5m
H= 9.0m
V=3771.1m³

⑧既設S60第3号コンクリートえん堤工(埋没)
(L= 54.5m H= 8.0m)

第3号ソイルセメント谷止工
(L= 94.5m, H= 9.0m)

BM. 2
EL=1122.83

既設巨石積護岸工

至 終 点

← 至 木 賊 集 落

つ2小班

う1小班

む小班

そ小班

む小班

む小班

む小班

は小班

ろ小班

い小班

ろ小班

つ2小班

小倉沢

くざり沢

CBP

CNO. 1

CNO. 2

CNO. 3

CNO. 4

CNO. 5

CNO. 6

CNO. 7

CNO. 8

CNO. 9

CNO. 10

CNO. 11

CNO. 12

CNO. 13

CNO. 14

CNO. 15

CNO. 16

CNO. 17

CNO. 18

1200

1175

1150

1125

1100

1175

1150

1125

1100

1175

1150

1125

1175

1150

1125

1100

1175

1150

1125

1100

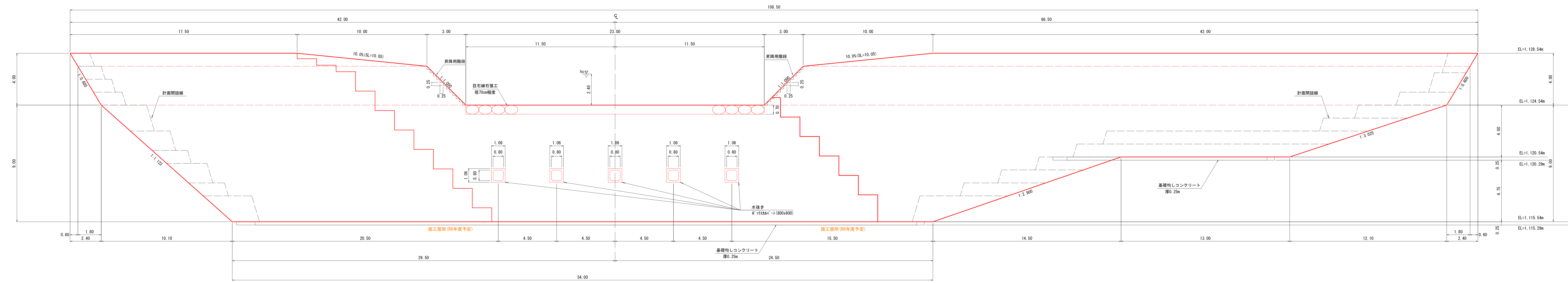
1175

1125

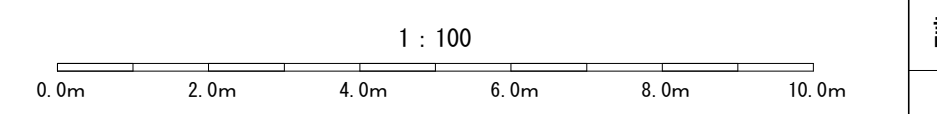
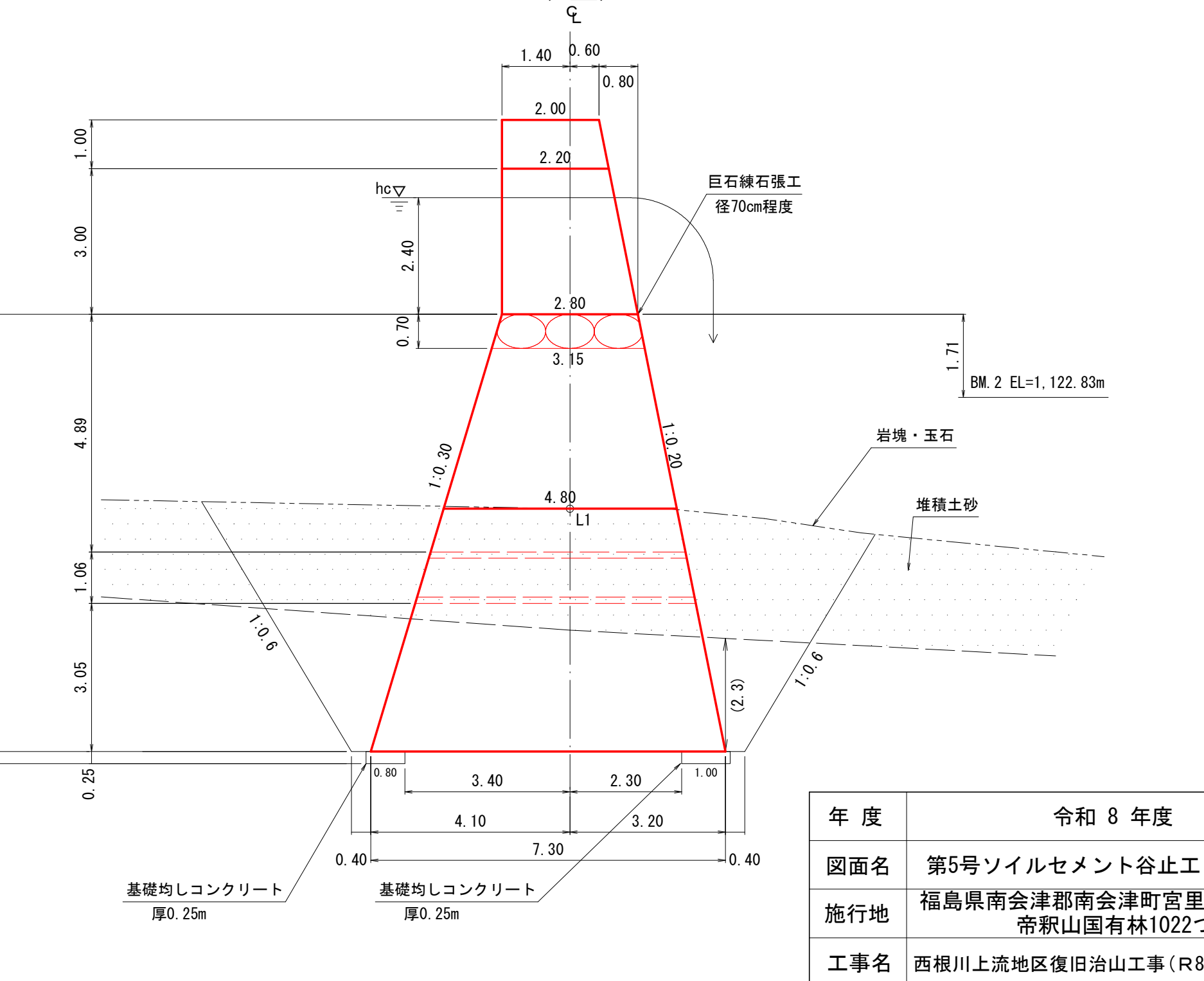
1150

1125

正面図



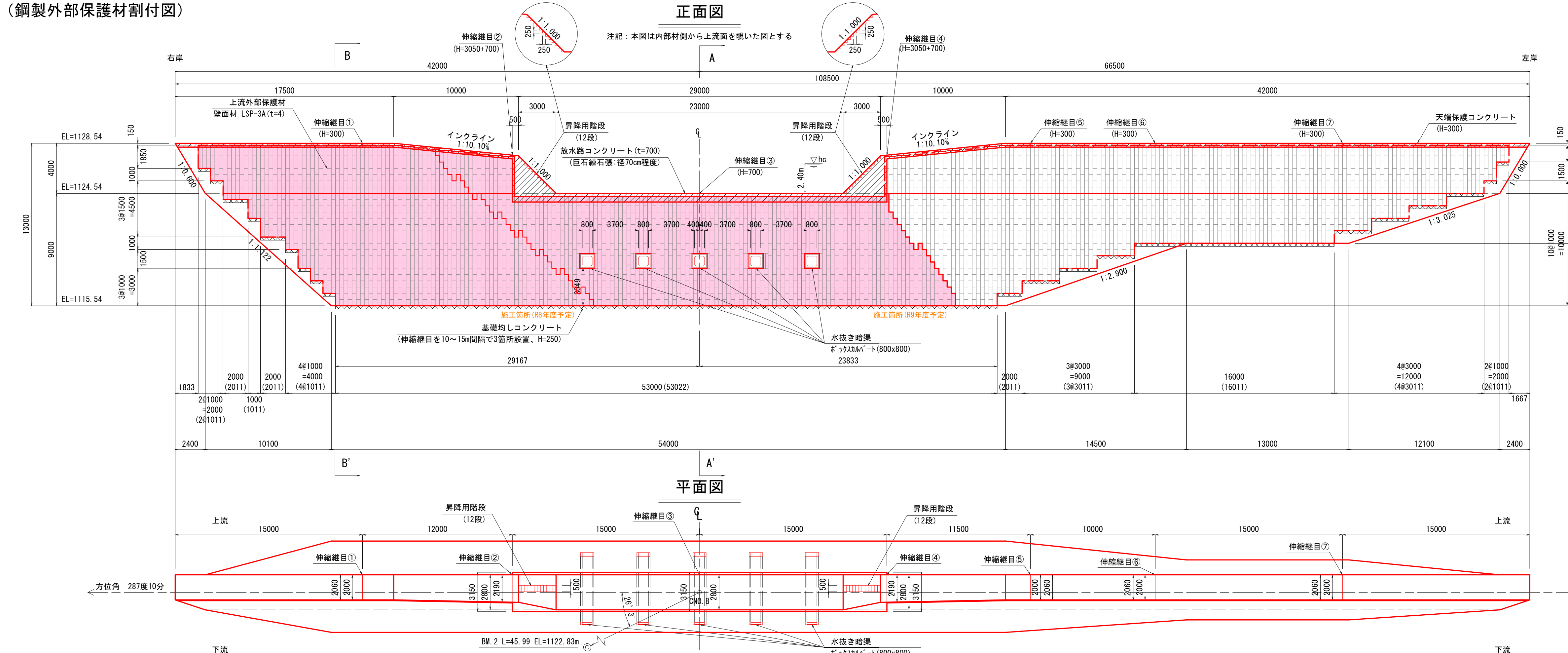
側面図
(4型)



年度	令和 8 年度		
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 構造図①		
施行地	福島県南会津郡南会津町宮里 帝釈山国有林1022つ1林小班外		
工事名	西根川上流地区復旧治山工事 (R8二箇年国債)		
図面番号	5	縮尺	1 : 100
設計者	(株)森林テクニクス	製図者	(株)森林テクニクス
関東森林管理局	会津森林管理署	南会津支署	

上流外部保護材割付図 (表記単位: mm)

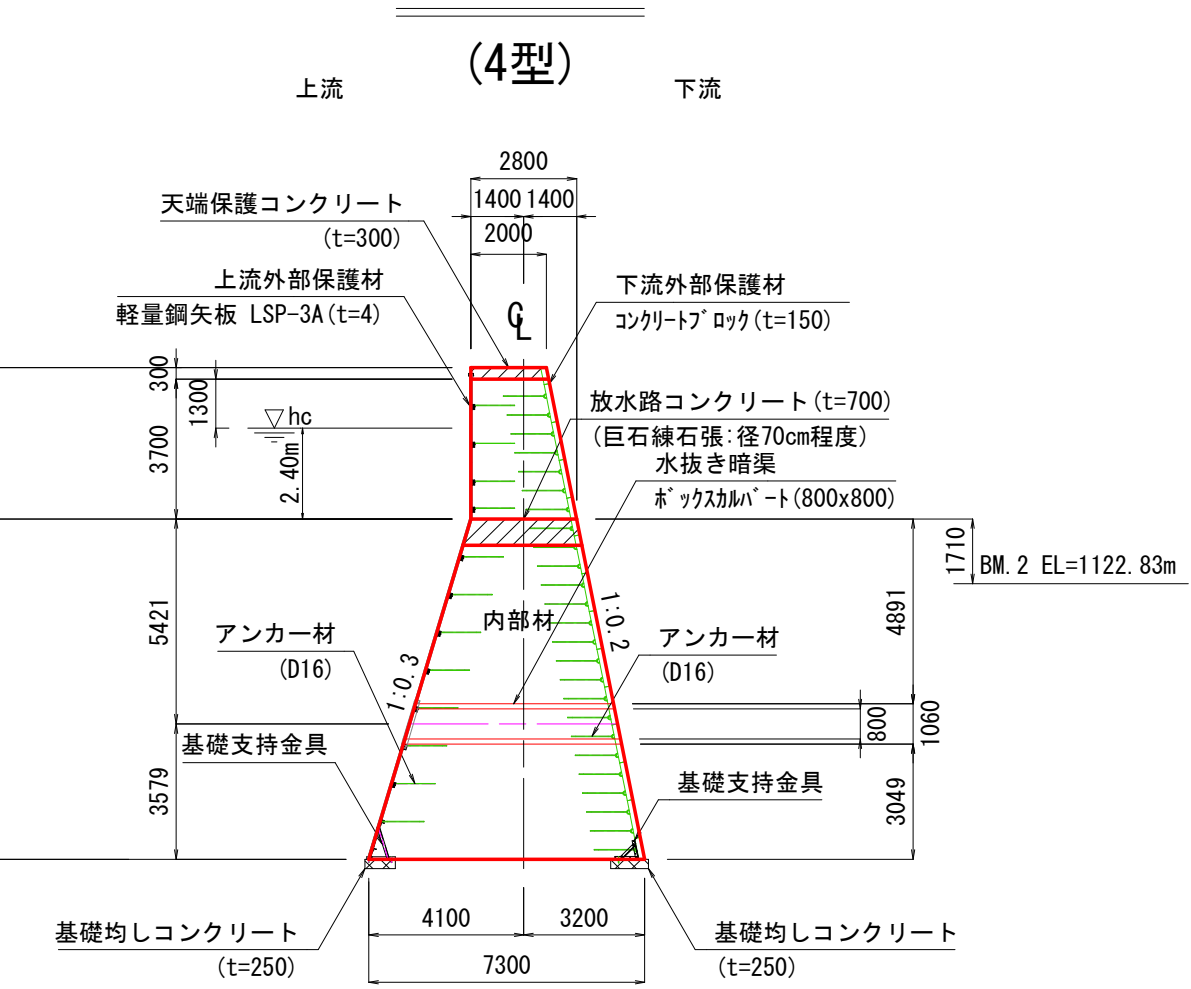
(鋼製外部保護材割付図)



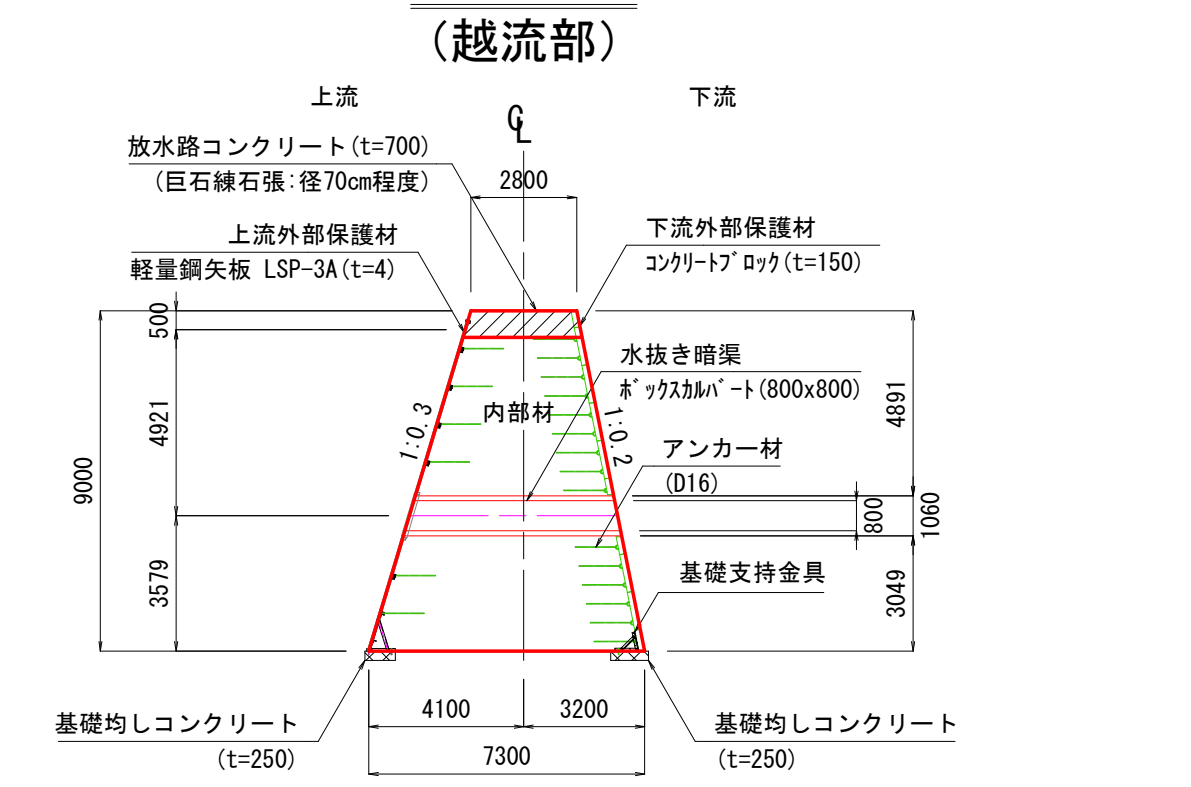
凡例

保護コンクリート	
基礎均しコンクリート	
上流外部保護材 (鋼製外部保護材)	

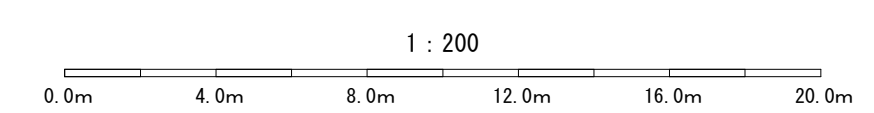
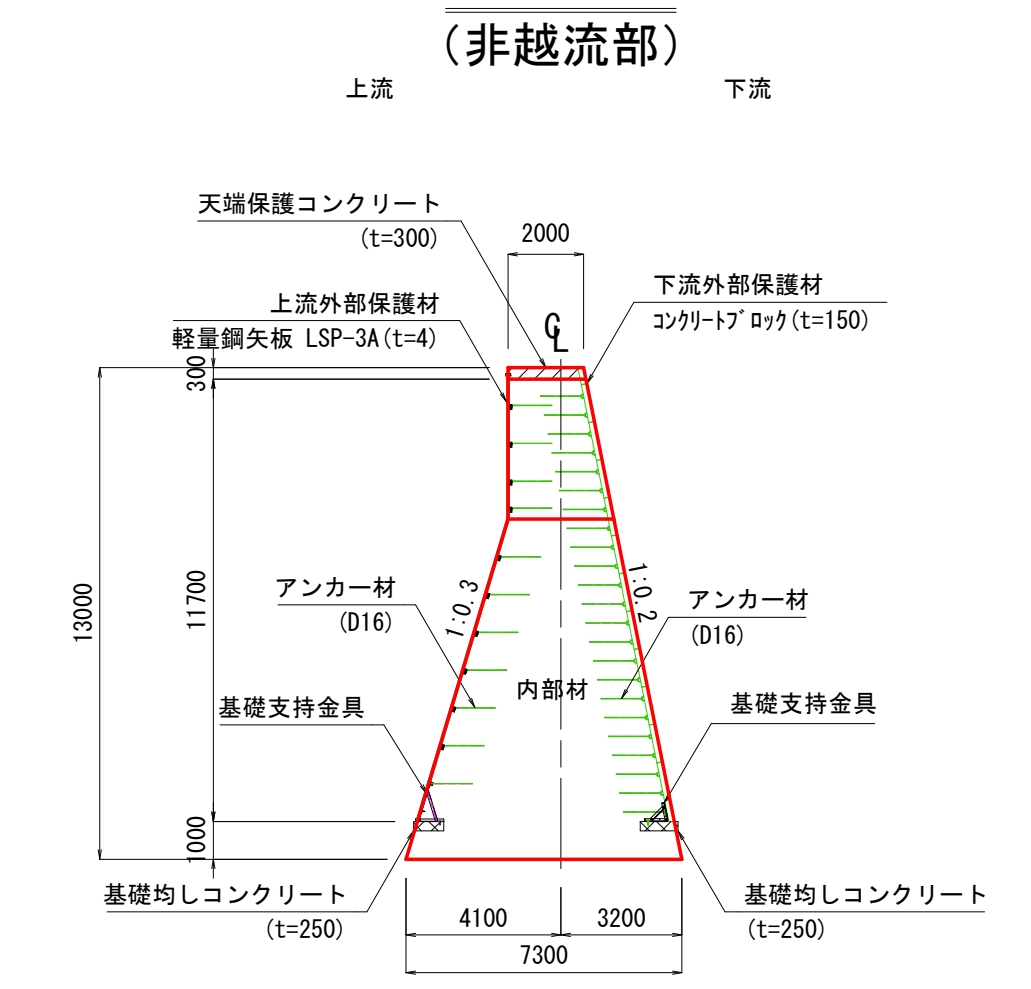
側面図 (4型)



A-A' 断面図 (越流部)



B-B' 断面図 (非越流部)

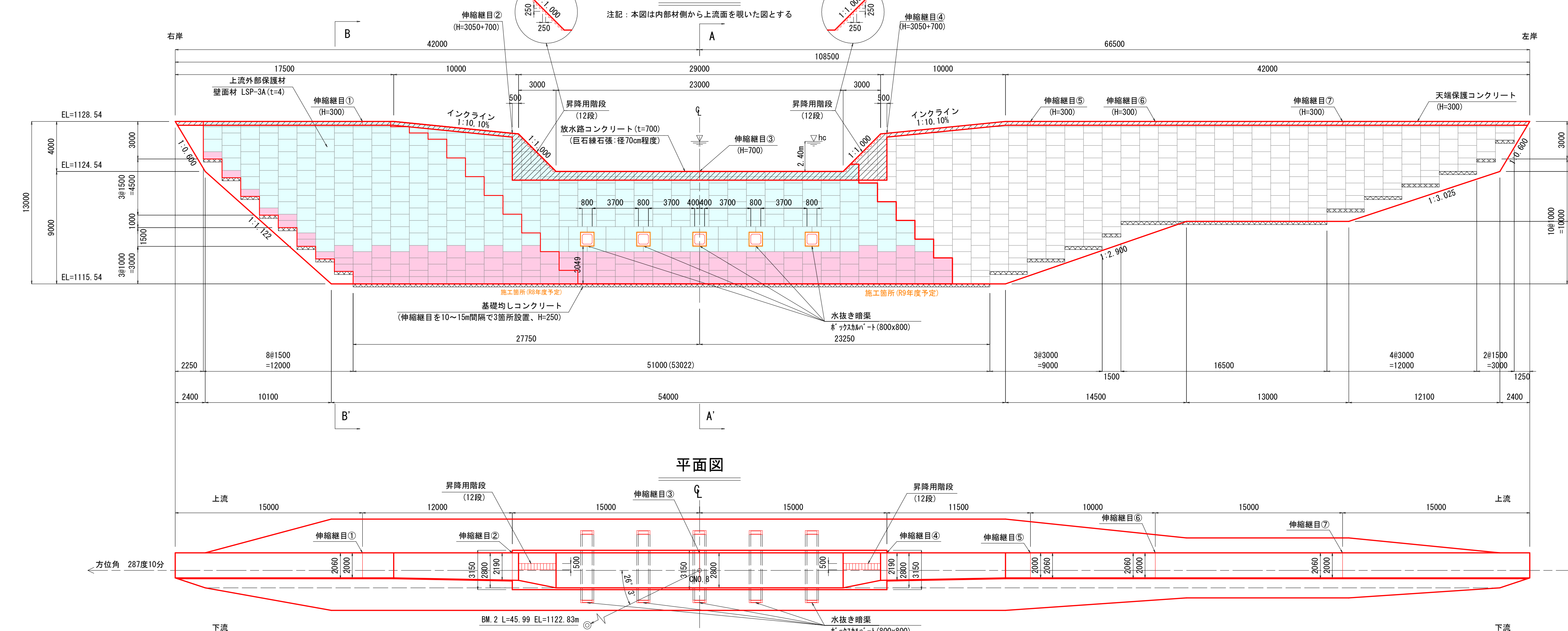


年度	令和8年度		
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 構造図②		
施行地	福島県南会津郡南会津町宮里 帝釈山国有林1022つ1林小班外		
工事名	西根川上流地区復旧治山工事 (R8二箇年国債)		
図面番号	6	縮尺	1:200
設計者	(株)森林テクニクス	製図者	(株)森林テクニクス
関東森林管理局	会津森林管理署	南会津支署	

※ 製造時、製品の加工等により異形部の形状が変更となる場合がある。なお、面積数量には影響しない。
 ※ 壁面材水平方向寸法は軽量鋼矢板の嵌合部寸法を表し、() 内寸法は軽量鋼矢板の実寸法 (嵌合端部) による参考寸法を表す。

下流外部保護材割付図 (表記単位:mm)

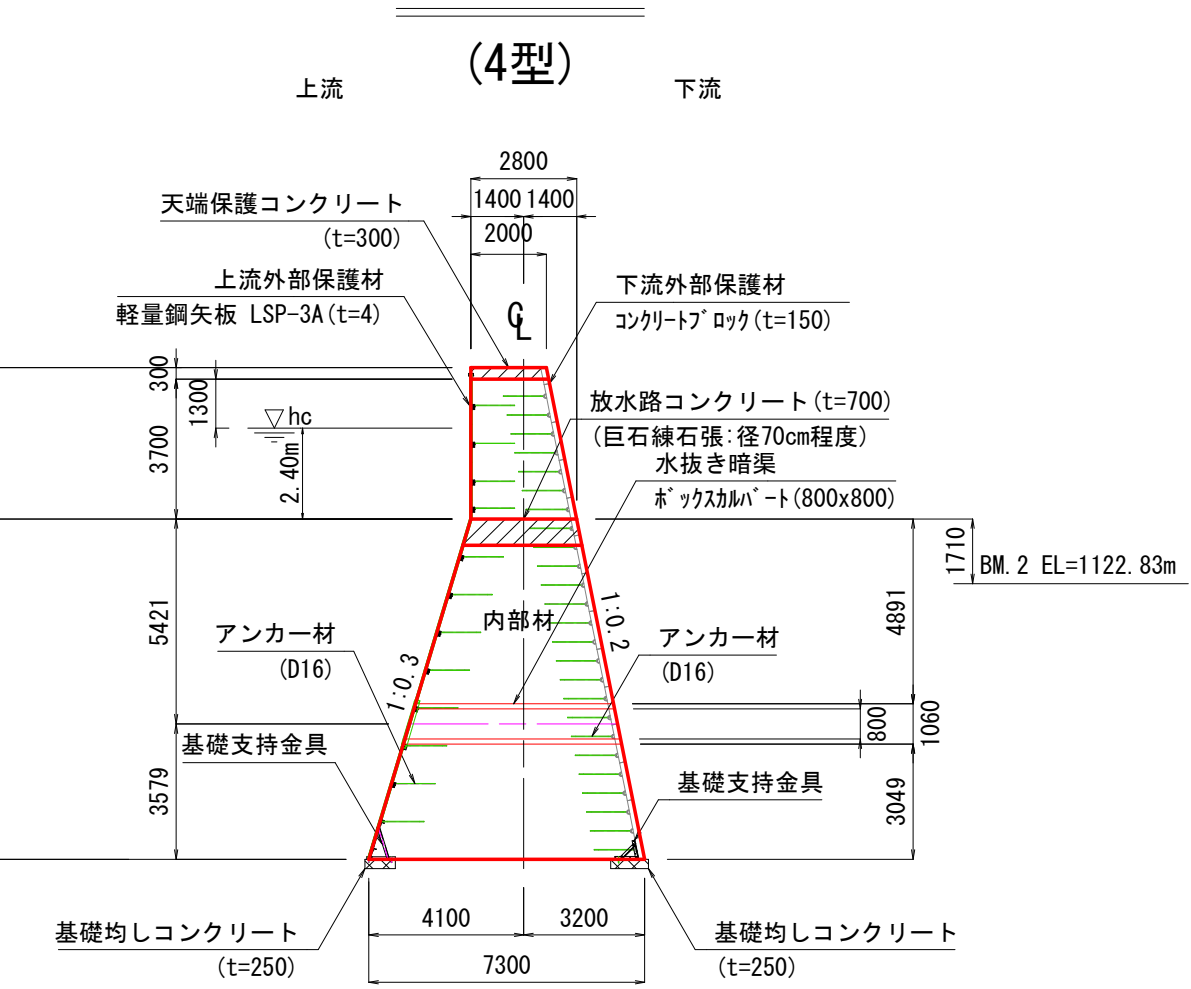
(コンクリート外部保護材割付図)



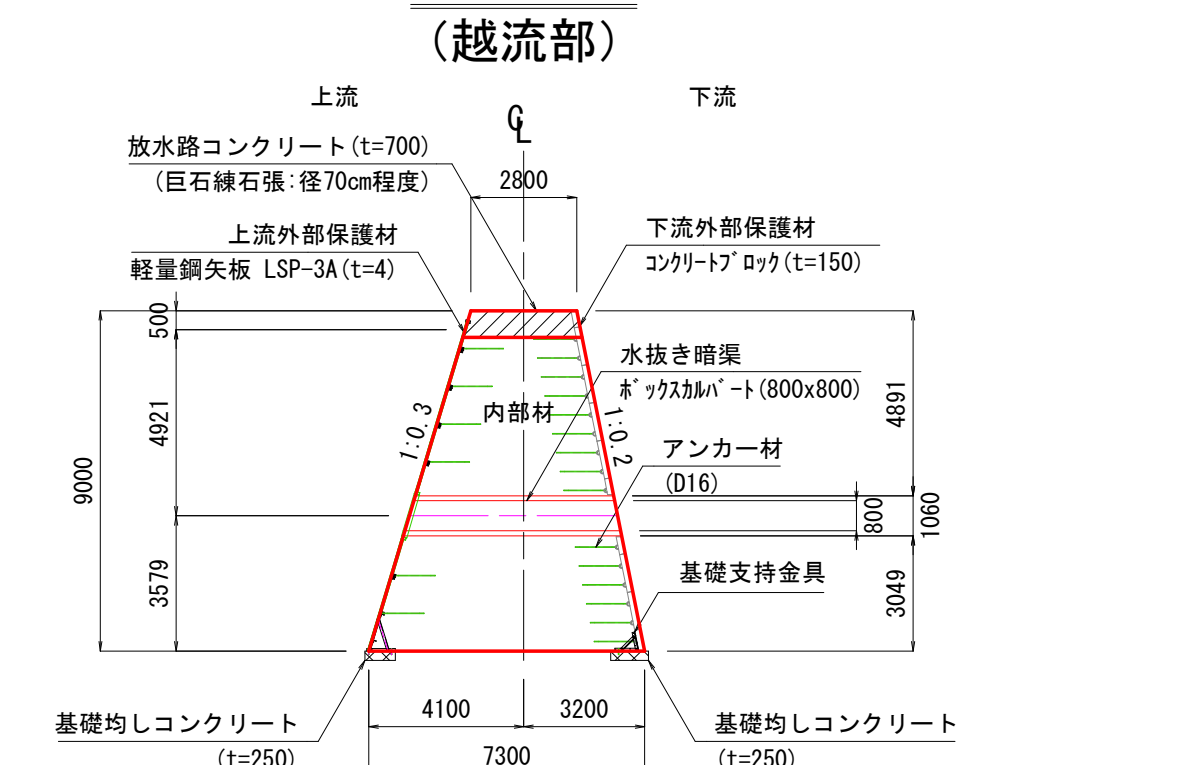
凡例

保護コンクリート	
基礎均しコンクリート	
下流外部保護材(コンクリート外部保護材)	
下流外部保護材(模様:石積型)	
下流外部保護材(模様:滑面型)	

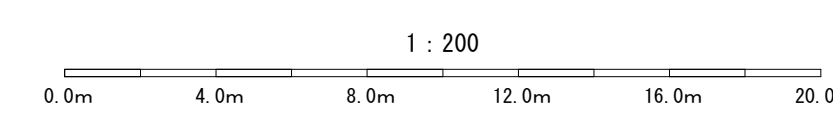
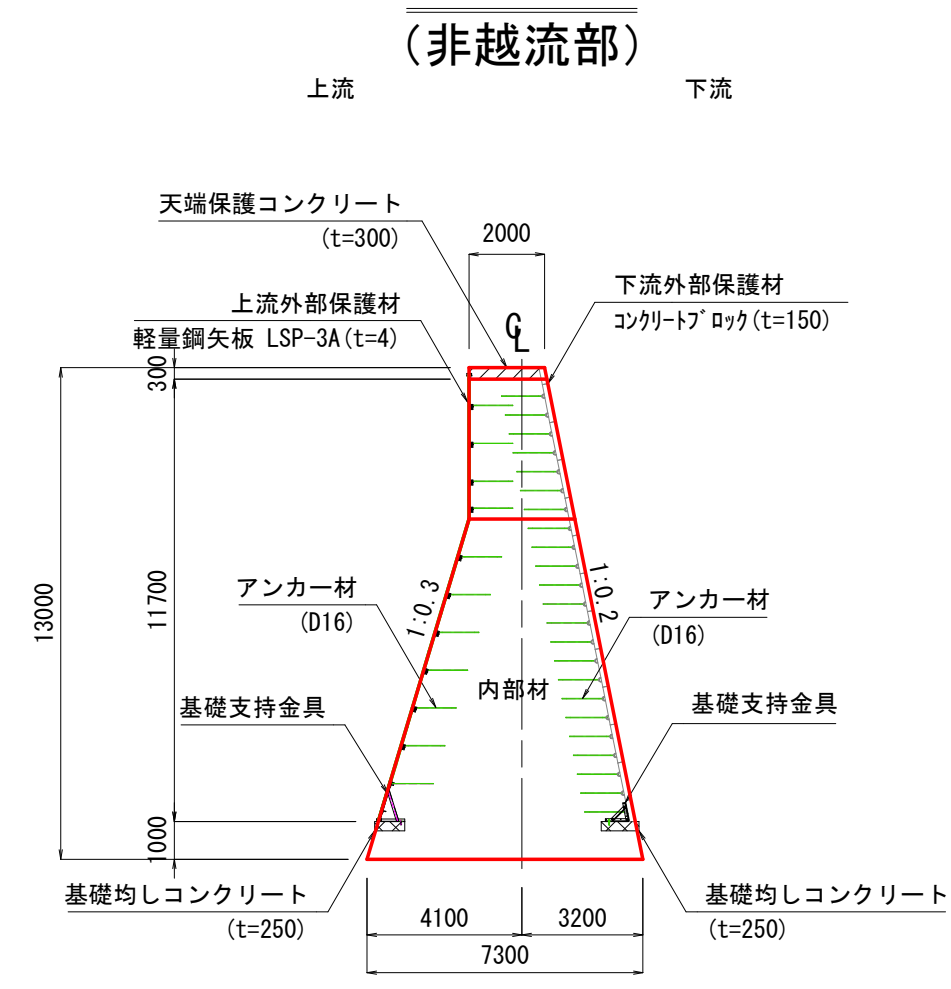
側面図 (4型)



A-A' 断面図 (越流部)



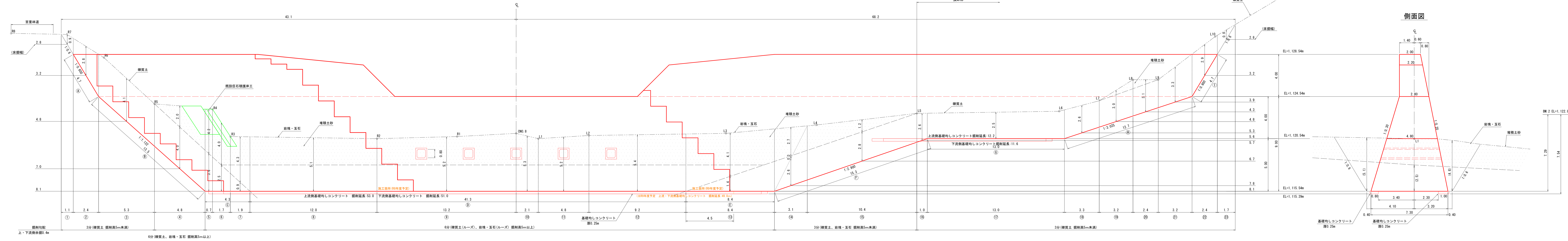
B-B' 断面図 (非越流部)



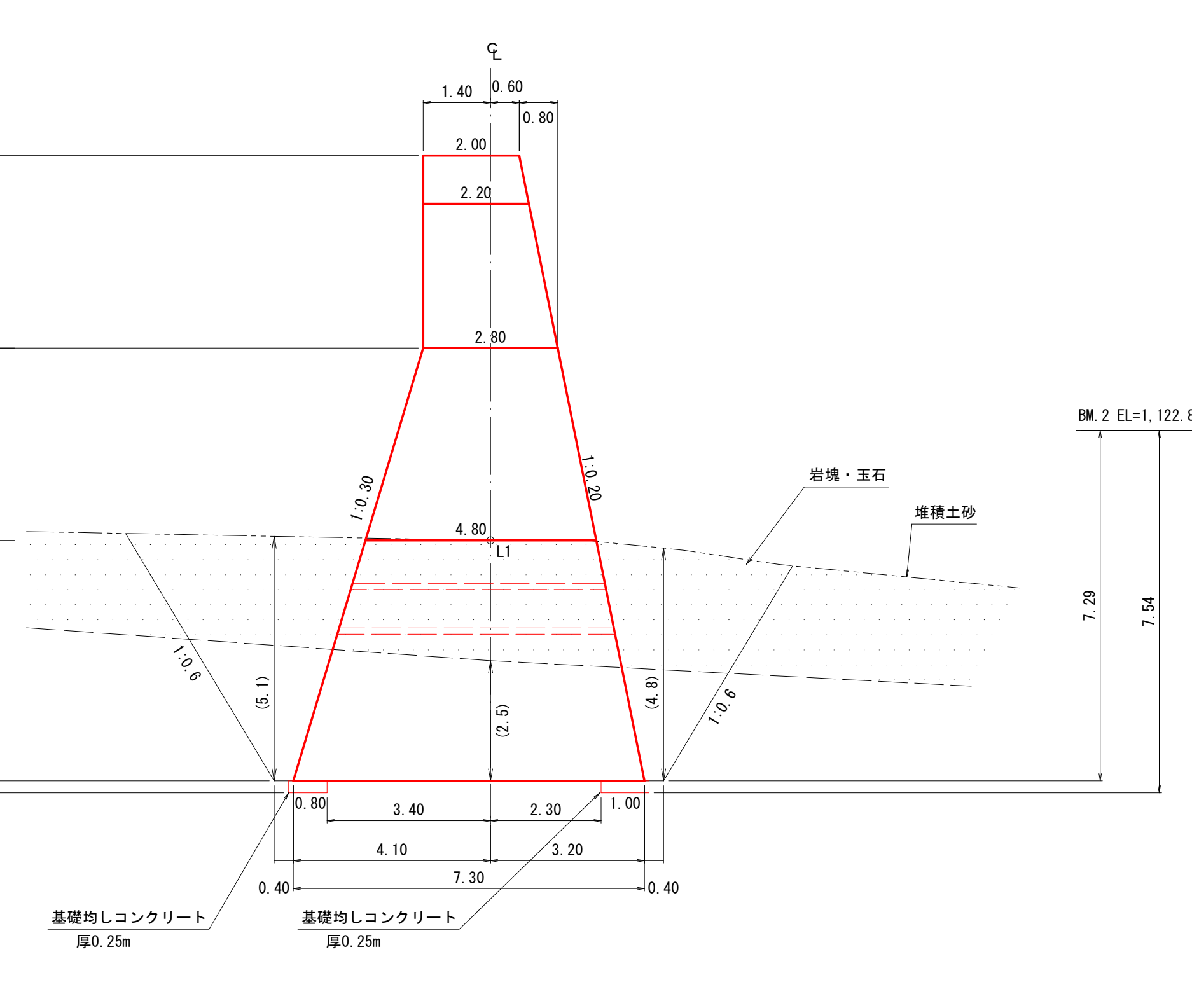
年度	令和 8 年度		
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 構造図③		
施行地	福島県南会津郡南会津町宮里 帝釈山国有林1022つ1林小班外		
工事名	西根川上流地区復旧治山工事 (R8二箇年国債)		
図面番号	7	縮尺	1:200
設計者	(株)森林テクニクス	製図者	(株)森林テクニクス
関東森林管理局	会津森林管理署	南会津支署	

※ 製造時、製品の加工等により異形部の形状が変更となる場合がある。なお、面積数量には影響しない。
 ※ 壁面材水平方向寸法は軽量鋼矢板の嵌合部寸法を表し、() 内寸法は軽量鋼矢板の実寸法 (嵌合端部) による参考寸法を表す。

正面図

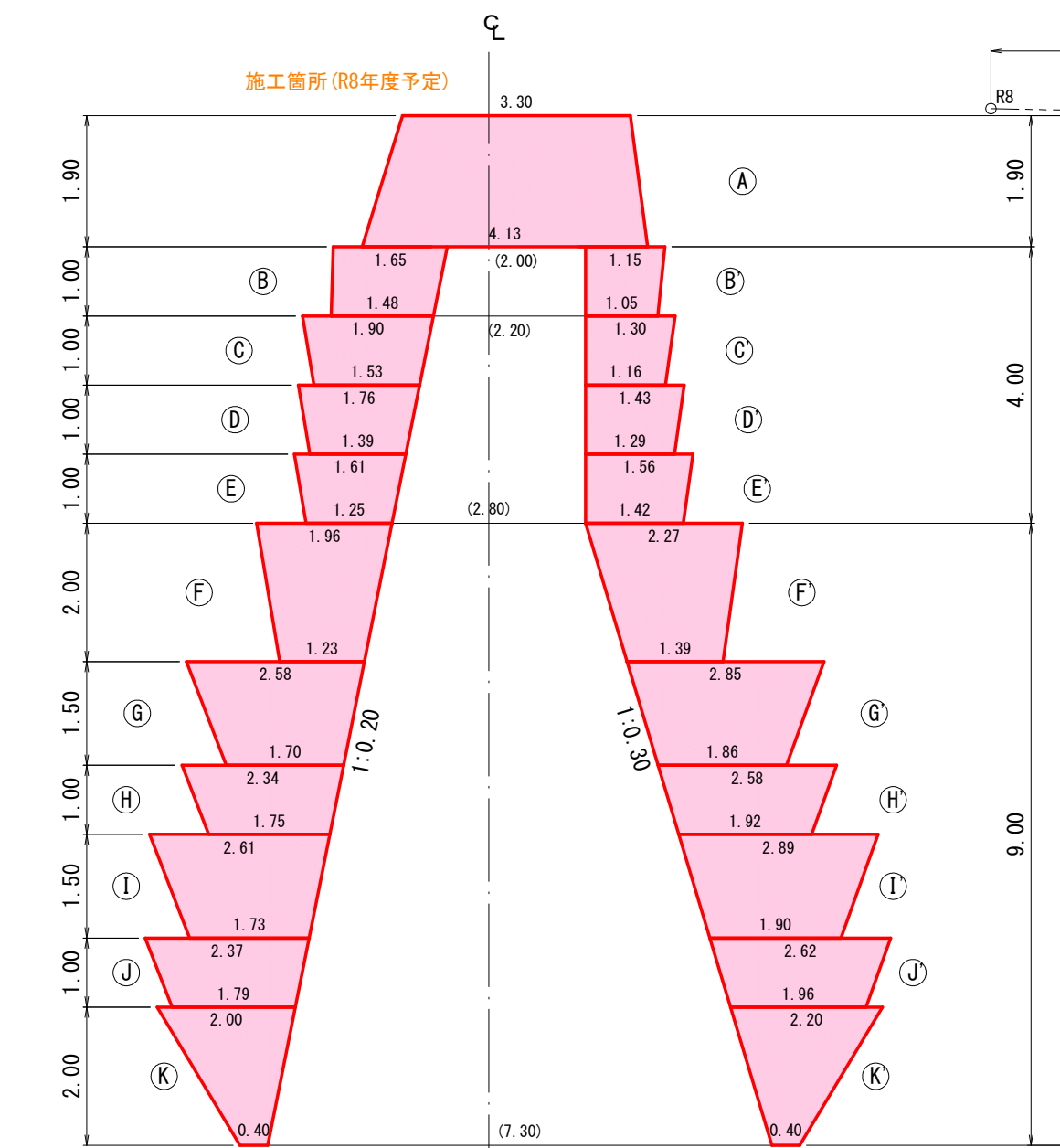


側面図

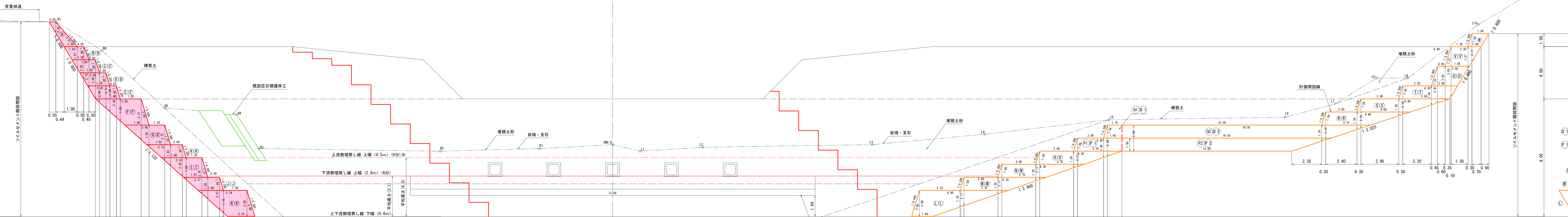


図面名	第5号ソイルセメント谷止工 床掘削		
図面番号	8	縮尺	1:100

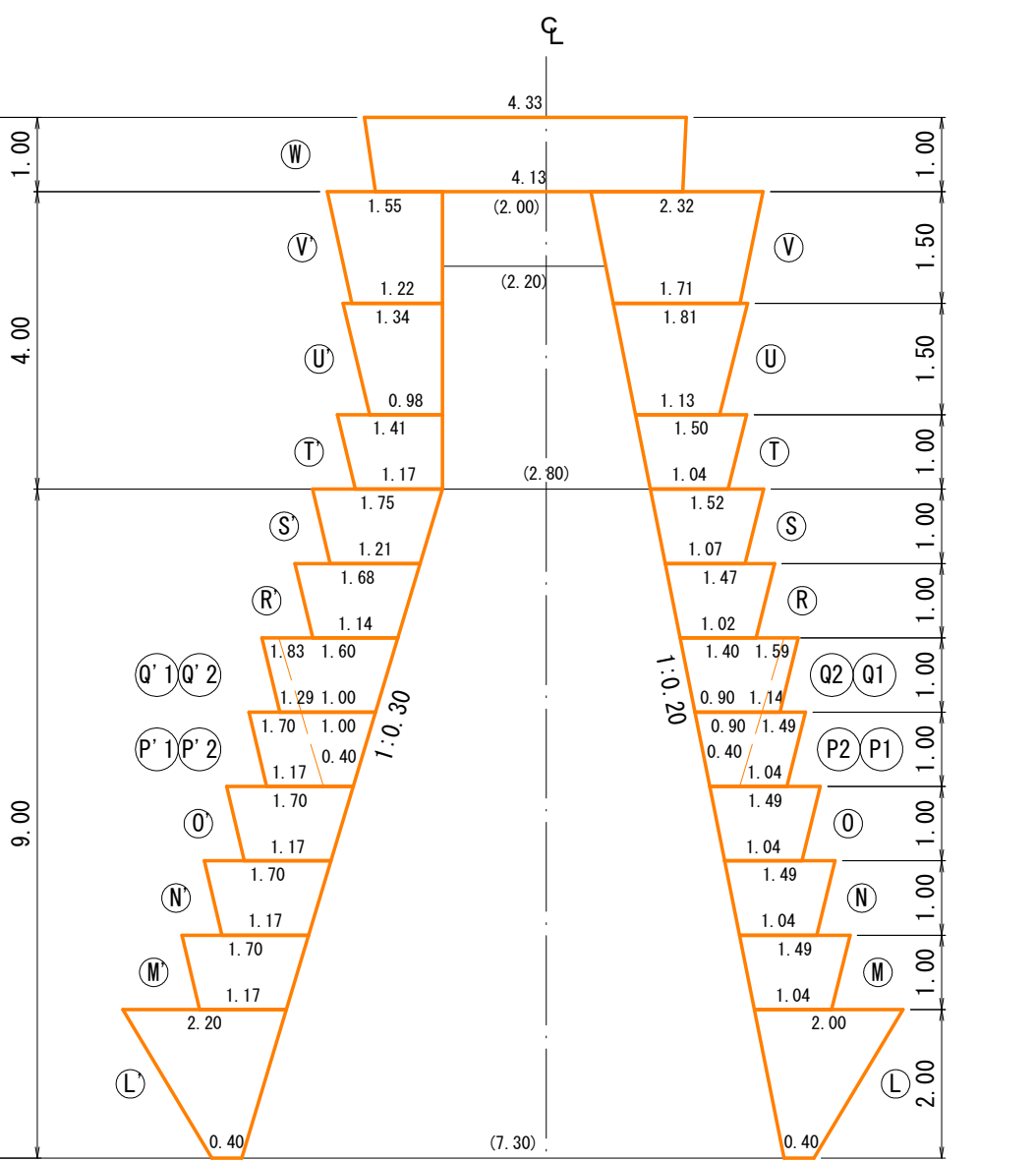
右岸側面図



正面図



左岸側面図

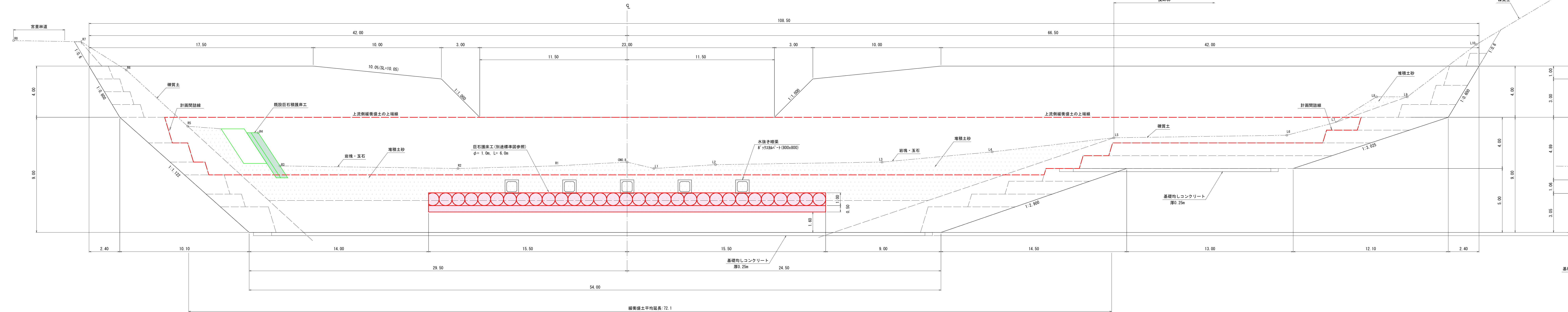


※上流側埋戻し線に関しては、4型のダムにおける堆砂に必要な土砂量である堤高の1/2の高さが確保されているため、跳ね上げ土砂量は計上していない
 51.2 下流側埋戻し 平均延長
 56.6 上流側埋戻し 平均延長

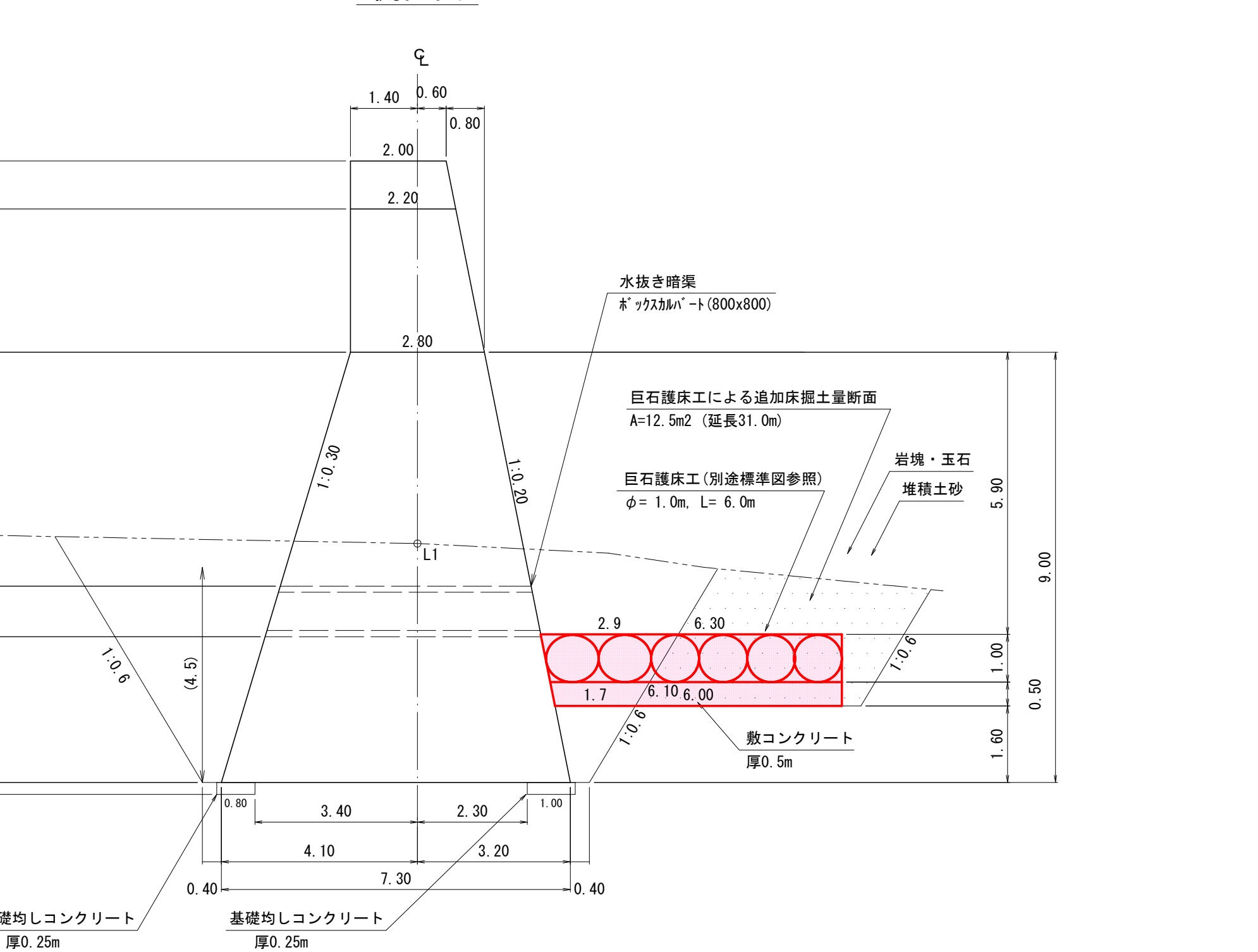
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 間詰図		
図面番号	9	縮尺	1 : 100



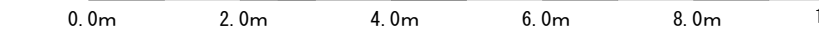
正面図



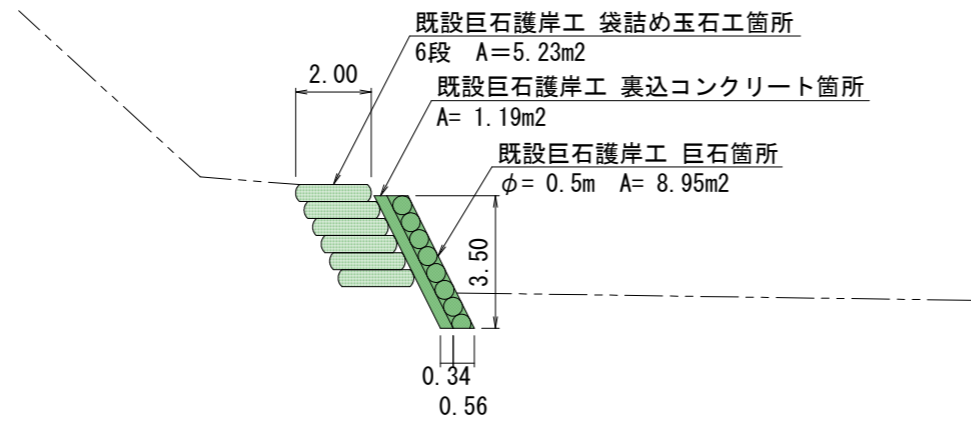
側面図



図面名	第5号ソイルセメント谷止工 附帯施設計画図		
図面番号	10	縮尺	1:100

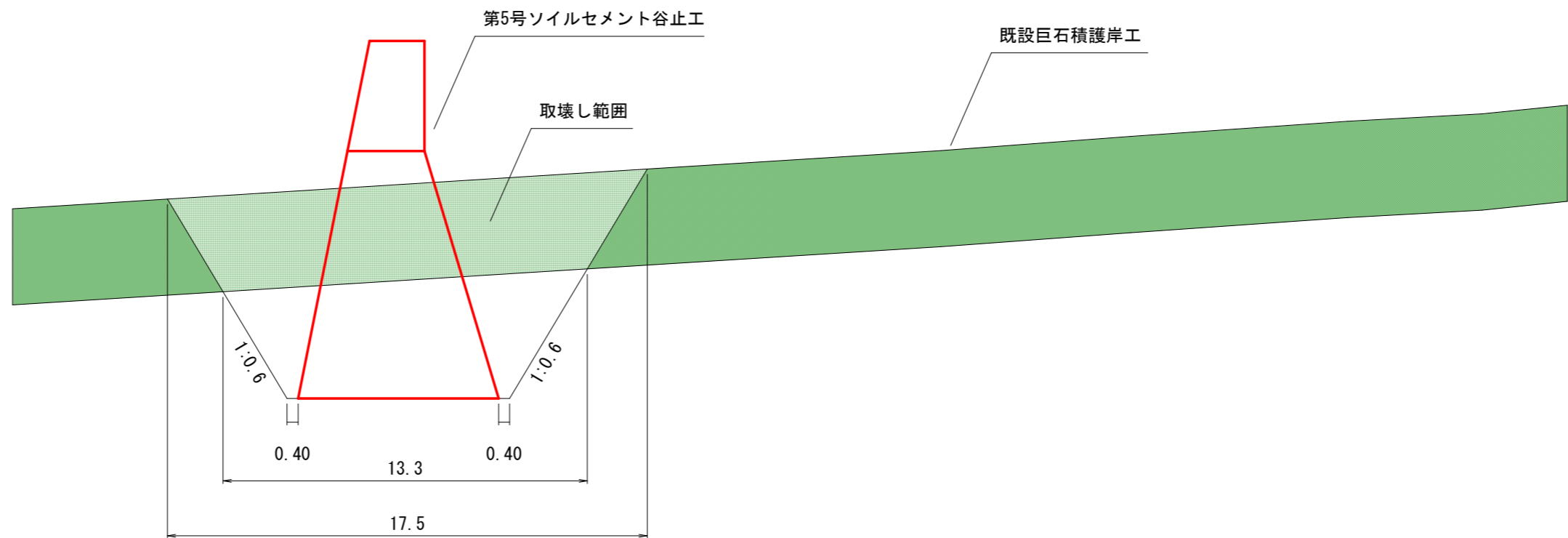


既設巨石積護岸工 断面図

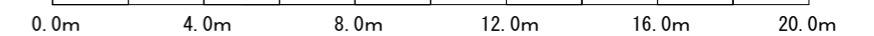


既設巨石積護岸工	断面積 (m ²)	延長 (m)	体積 (m ³)
巨石箇所	8.95	(13.3+17.5)/2	137.8
裏込コンクリート箇所	1.19	= 15.4	18.3
袋詰め玉石工箇所	5.23		80.5
計			236.6

既設巨石積護岸工 取壊し延長算出図



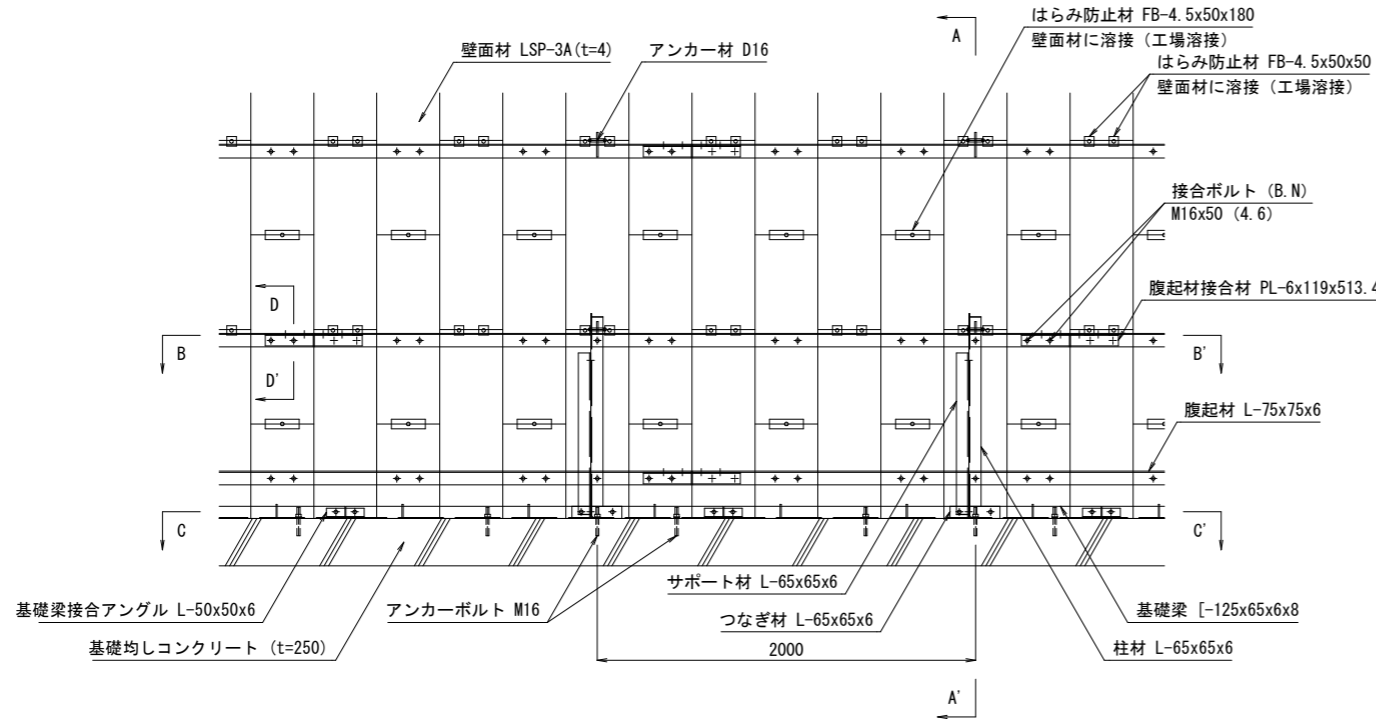
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 既設護岸工取壊し計画図		
図面番号	1 1	縮尺	1 : 200



上流外部保護材標準構造図 (3-1) (表記単位:mm)

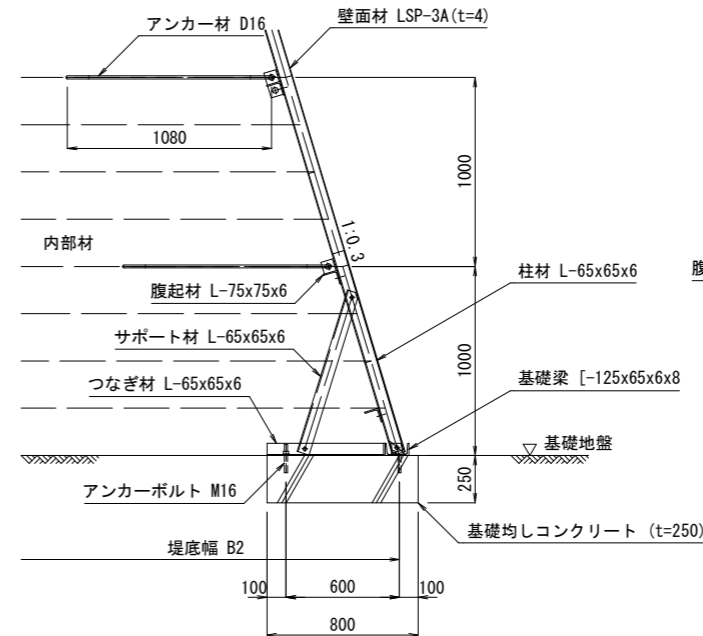
正面図 S=1/40

注記：本図は内部材側から堤体外側を覗いた図とする

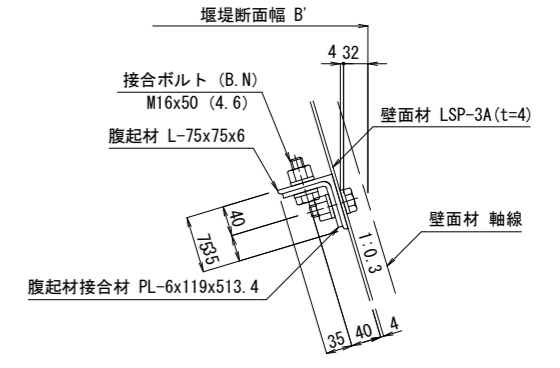


(基礎部)

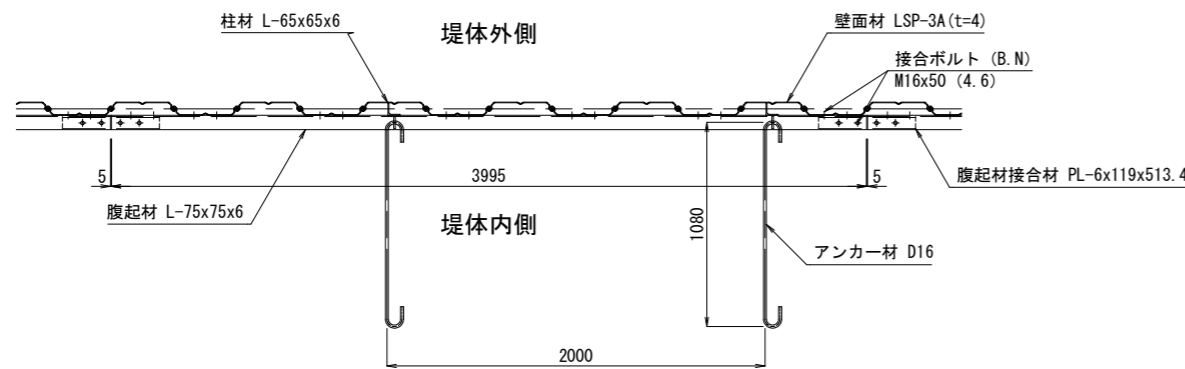
A-A' 断面図 S=1/40



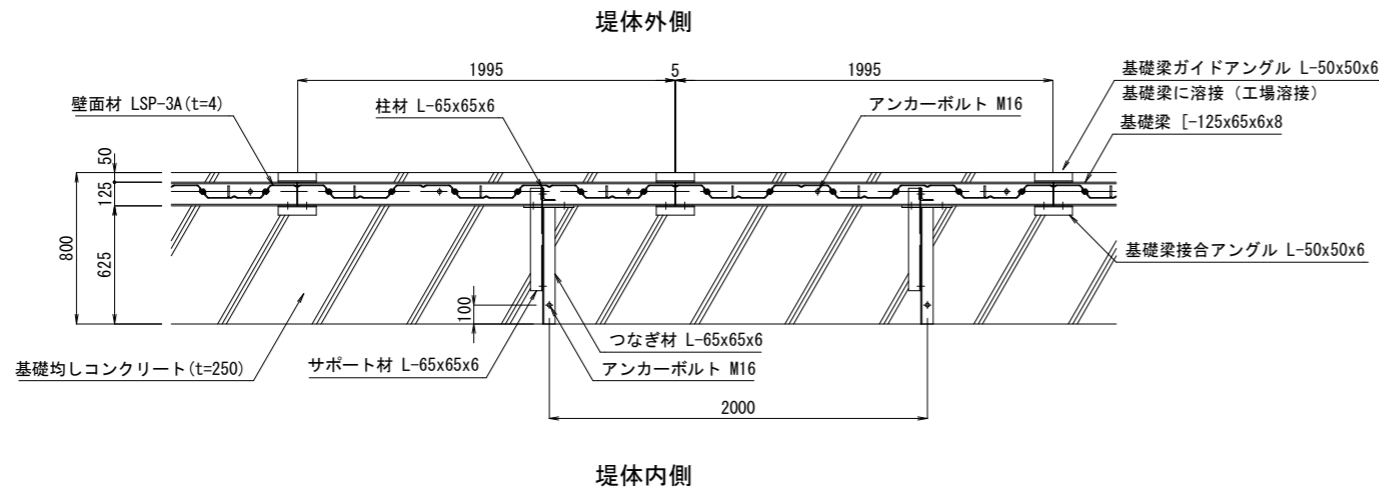
D-D' 断面図 S=1/10



B-B' 断面図 S=1/40

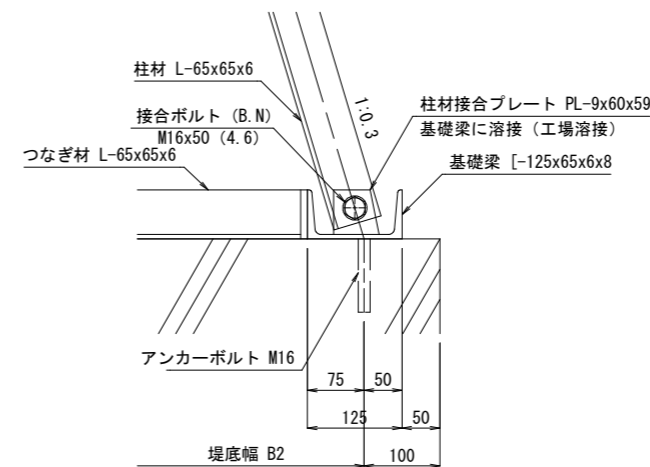


C-C' 断面図 S=1/40

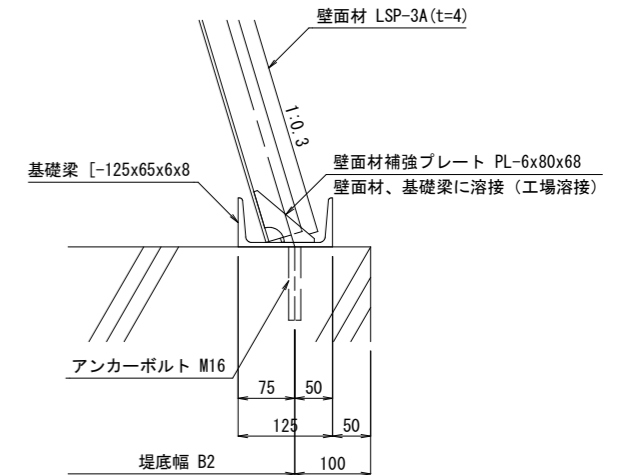


基礎梁詳細図 S=1/10

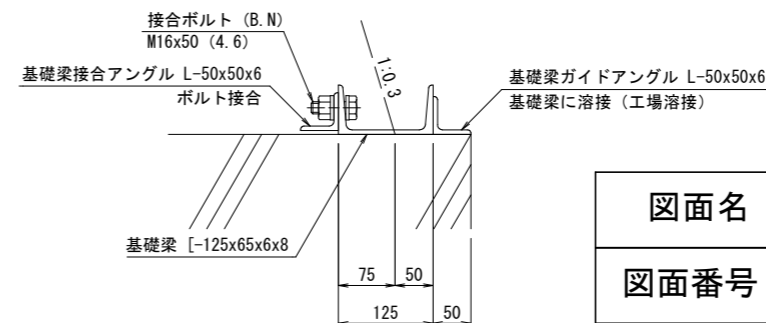
(柱材接合プレート詳細)



(壁面材補強プレート詳細)



(基礎梁接合材詳細)



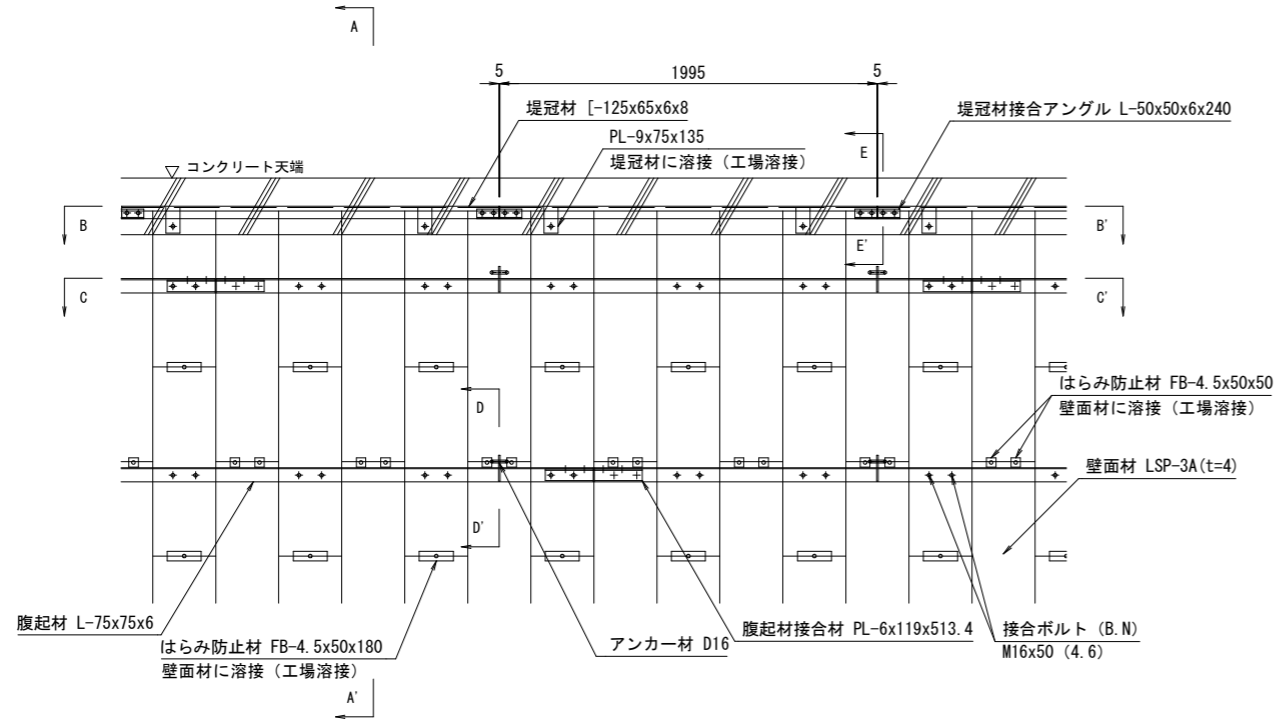
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 上流外部保護材標準構造図①		
図面番号	12-1	縮尺	図示

上流外部保護材標準構造図 (3-2) (表記単位: mm)

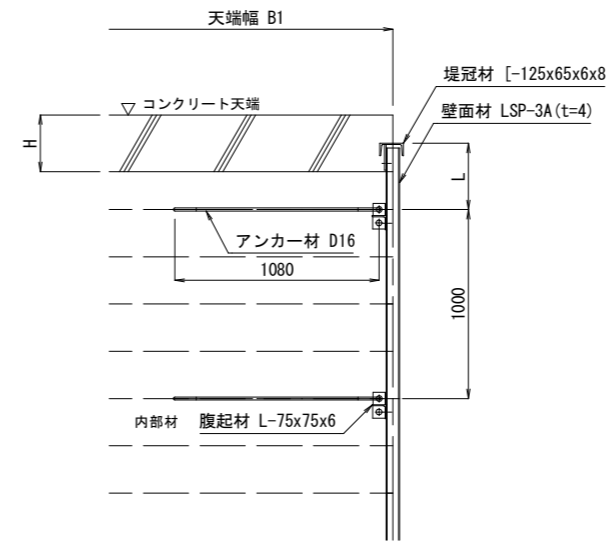
(天端部)

正面図 S=1/40

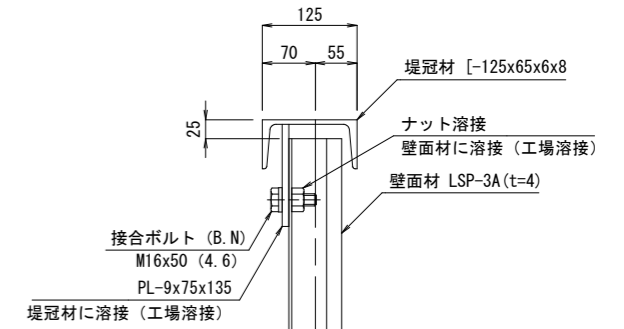
注記: 本図は内部材側から堤体外側を覗いた図とする



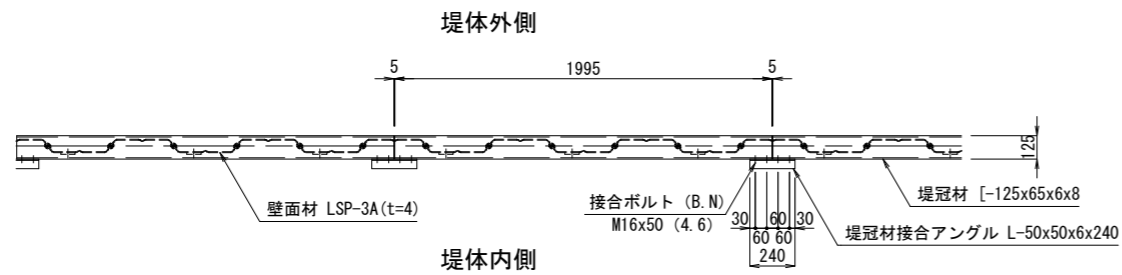
A-A' 断面図 S=1/40



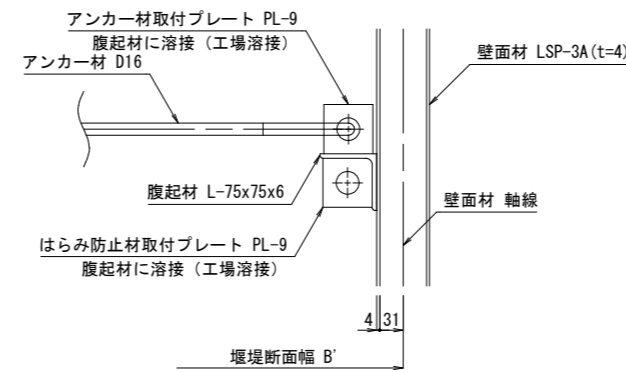
堤冠材詳細図 S=1/10



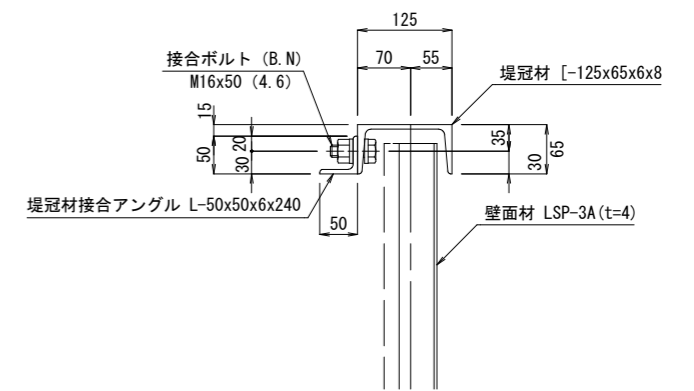
B-B' 断面図 S=1/40



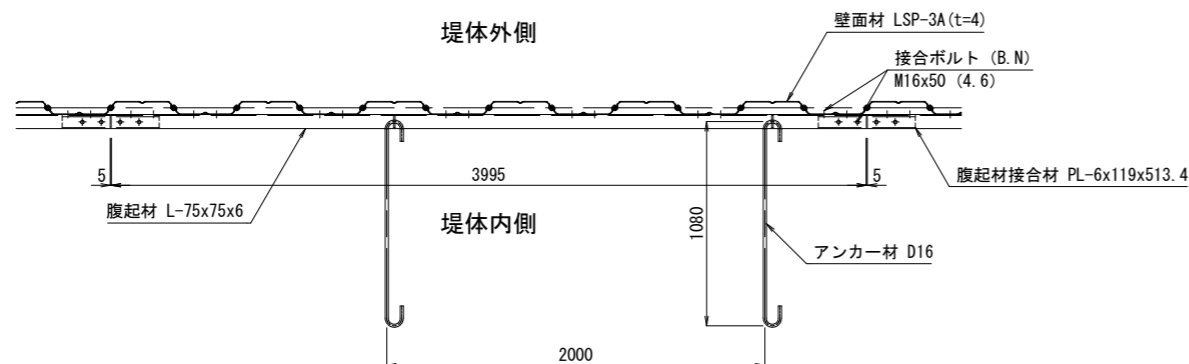
D-D' 断面図 S=1/10



E-E' 断面図 S=1/10



C-C' 断面図 S=1/40

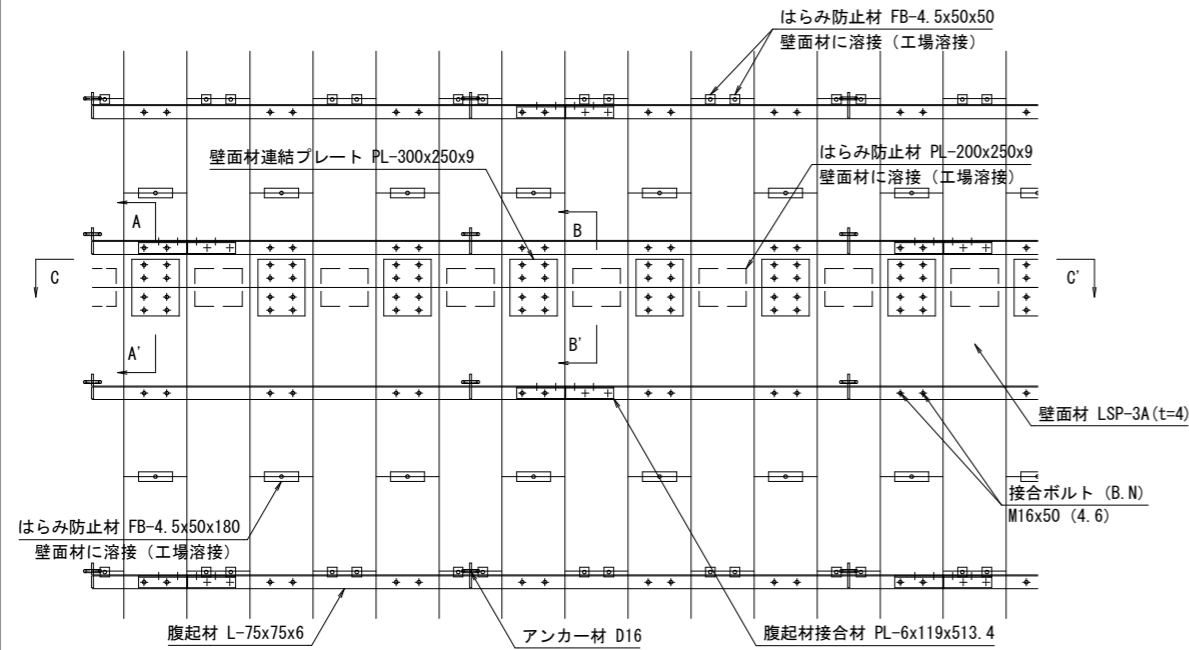


図面名	第5号ソイルセメント谷止工 上流外部保護材標準構造図②		
図面番号	12-2	縮尺	図示

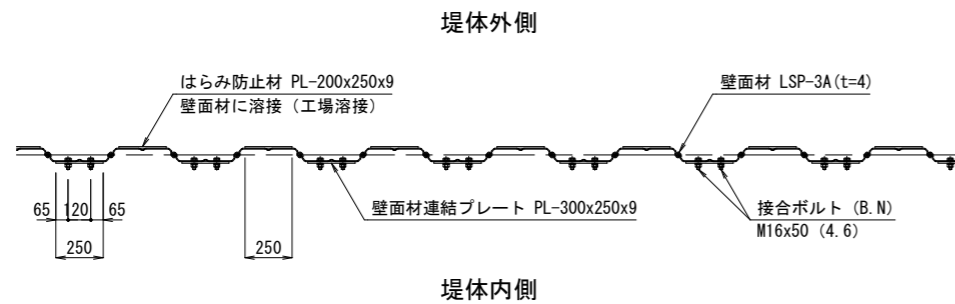
上流外部保護材標準構造図 (3-3) (表記単位: mm)

正面図 S=1/40

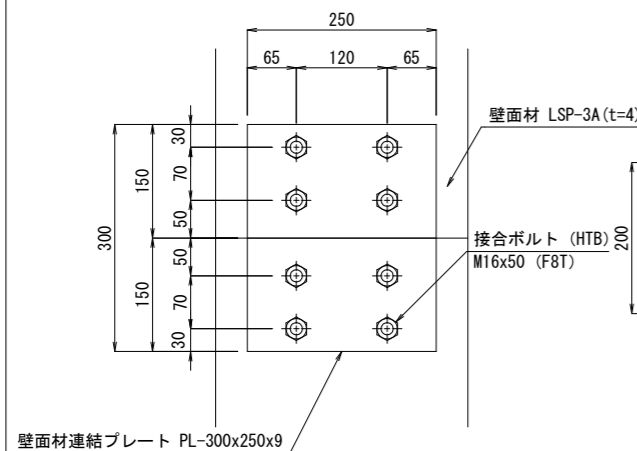
注記: 本図は内部材側から堤体外側を覗いた図とする



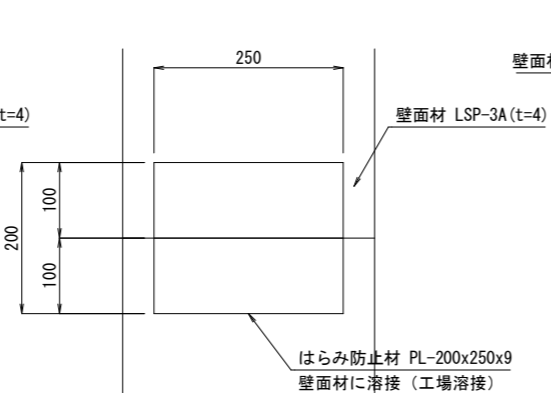
C-C' 断面図 S=1/40



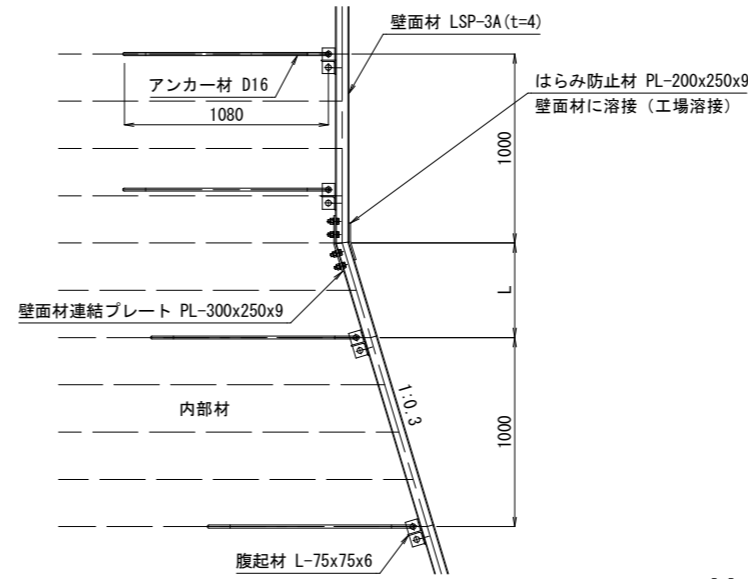
D-D' 断面図 S=1/10



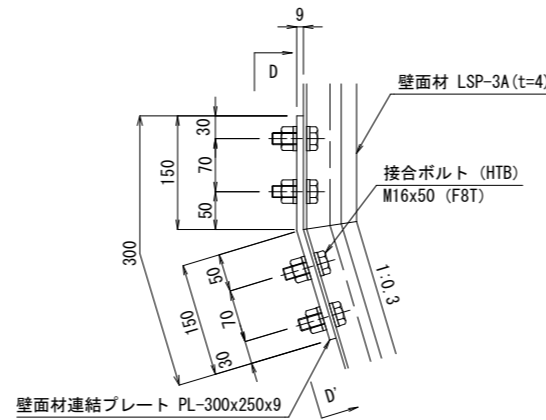
E-E' 断面図 S=1/10



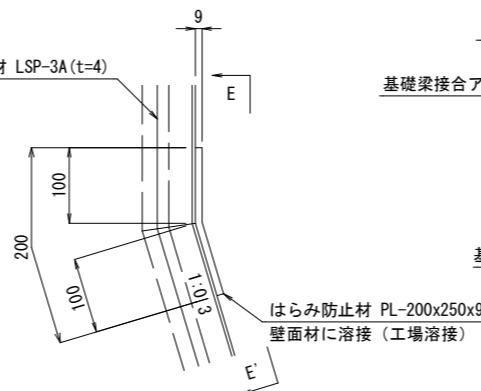
(断面折部) 側面図 S=1/40



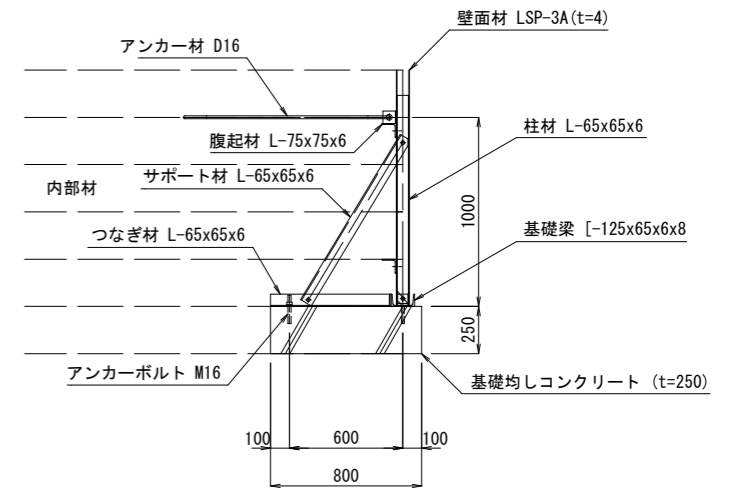
A-A' 断面図 S=1/10



B-B' 断面図 S=1/10

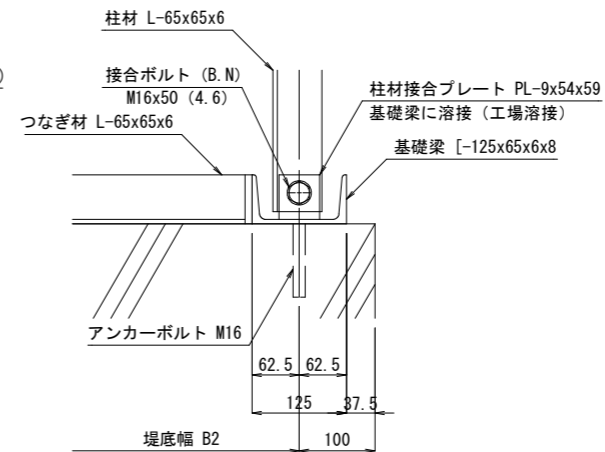


袖上基礎部断面図 S=1/40

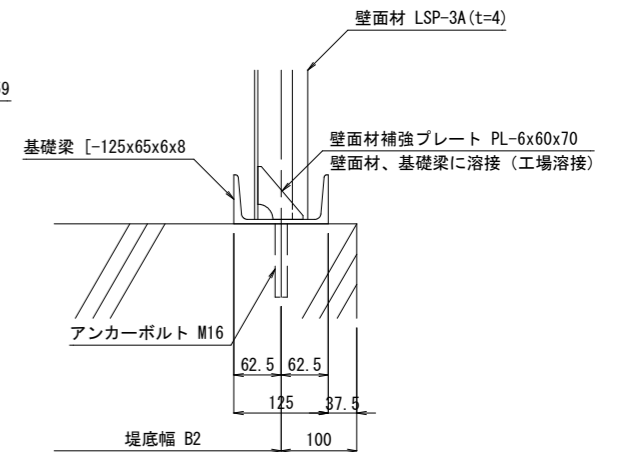


基礎梁詳細図 S=1/10

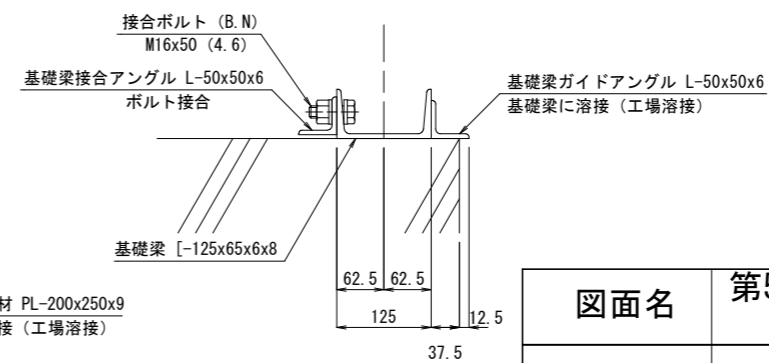
(柱材接合プレート詳細)



(壁面材補強プレート詳細)



(基礎梁接合材詳細)



図面名	第5号ソイルセメント谷止工 上流外部保護材標準構造図③		
図面番号	12-3	縮尺	図示

下流外部保護材標準図(2-1) (基礎部) S=1:40

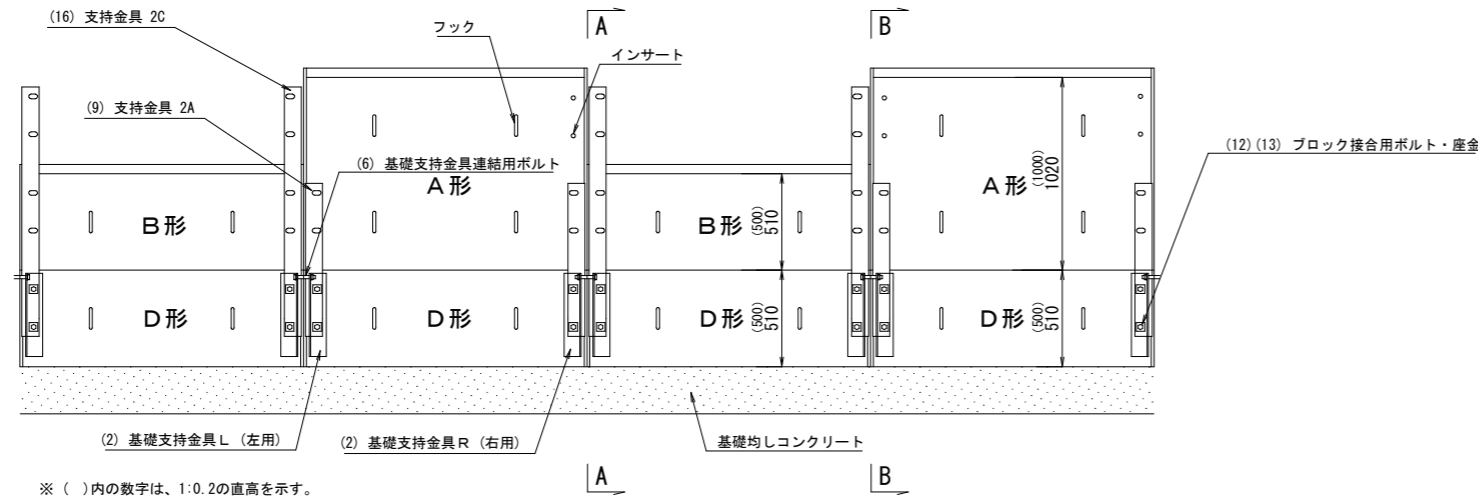
(壁面勾配1:0.2の場合 石積タイプ)

(表記単位:mm)

標準部材表

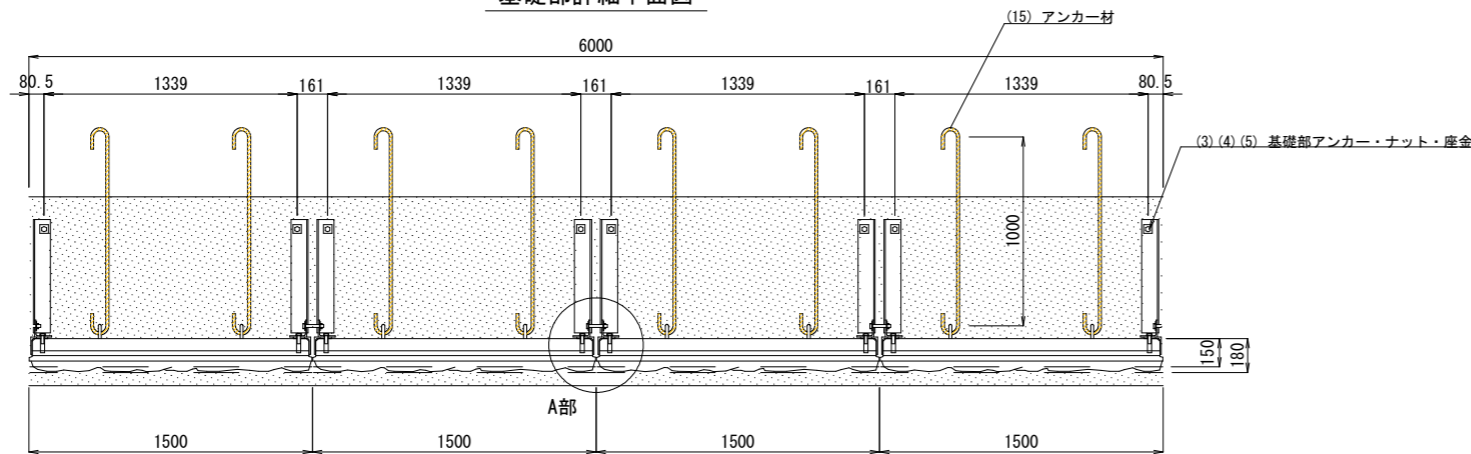
部材名称	材質	種別	寸法(mm)
(1) 壁面材	鉄筋コンクリート	コンクリートブロック	コンクリートブロック規格図を参照
(2) 基礎支持金具	SS400	等辺山形鋼等	基礎支持金具部材表(下記)を参照
(3) 基礎部アンカー	-	金属拡張アンカー	M16×150(最小埋込み100mm)
(4) 基礎部アンカー用ナット	-	(JIS B 1181)	M16
(5) 基礎部アンカー用座金	-	(JIS B 1256)	M16
(6) 基礎支持金具連結用ボルト	-	(JIS B 1180)	M16×100
(7) 基礎支持金具連結用ナット	-	(JIS B 1181)	M16
(8) 基礎支持金具連結用座金	-	(JIS B 1256)	M16 小型角
(9) ブロック支持金具2A	-	等辺山形鋼	L90×90×7×810
(11) インサート(ブロック埋込済)	-		D22×75(M16) 石積タイプ
(12) ブロック接合用ボルト	-	(JIS B 1180)	M16×40
(13) ブロック接合用座金	-	(JIS B 1256)	M16 小型角
(15) アンカー材	SD295	異型棒鋼	D16×1382
(16) ブロック支持金具2C	-	等辺山形鋼	L90×90×7×1320

基礎部詳細展開図



※ ()内の数字は、1:0.2の直高を示す。

基礎部詳細平面図



※ 基礎支持金具の組立用ボルト等の表記は省略している。
※ 設計部材厚は150mmとする。

基礎支持金具部材表

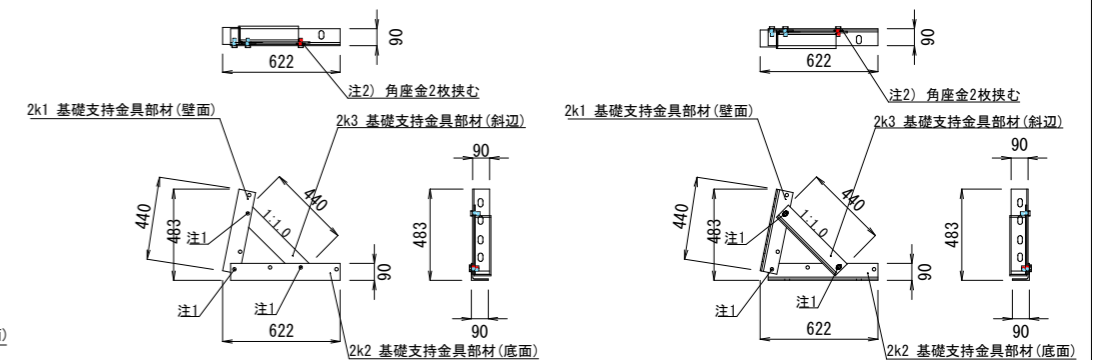
部材名称	材質	種別	寸法(mm)
2k1 基礎支持金具部材(壁面)	SS400	等辺山形鋼	L90×90×7×440
2k2 基礎支持金具部材(底面)	SS400	等辺山形鋼	L90×90×7×580
2k3 基礎支持金具部材(斜辺)	SS400	等辺山形鋼	L90×90×7×440
Ka 基礎支持金具組立用ボルト	-	(JIS B 1180)	M16×40
Kb 基礎支持金具組立用ナット	-	(JIS B 1181)	M16
Kc 基礎支持金具組立用座金	-	(JIS B 1256)	M16 小型角

※ 2k1~2k3は、同一の部材を左右対象で使用する。

基礎支持金具詳細図

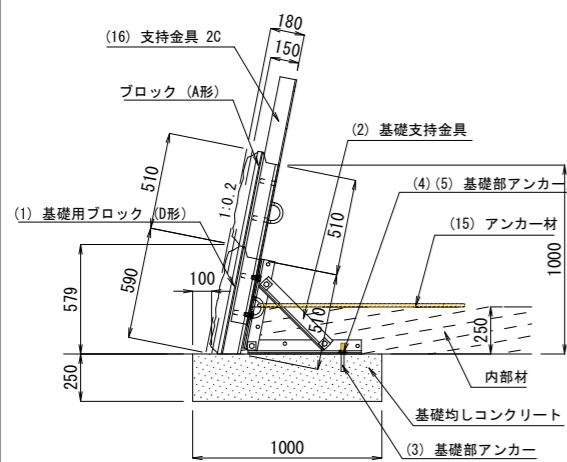
(2) 基礎支持金具 L(左用) 組立図

(2) 基礎支持金具 R(右用) 組立図



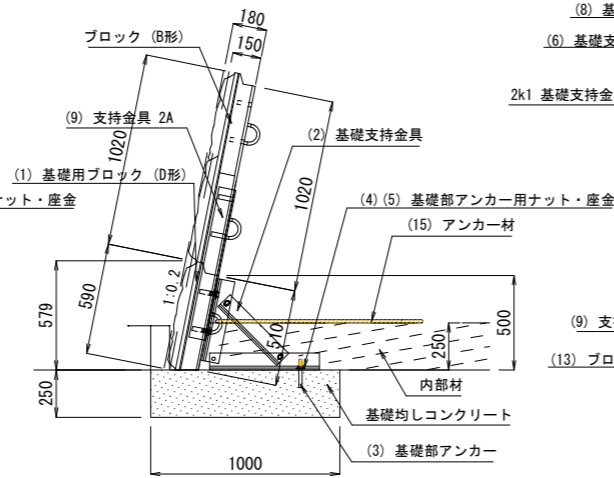
注1: 組立用ボルト(Ka)・ナット(Kb)・角座金(Kc)を1個ずつ使用して組立てる。
注2: 基礎支持金具の組立時に、部材の間に角座金(Kc)を2枚挟んで隙間を調整する。

A-A断面図



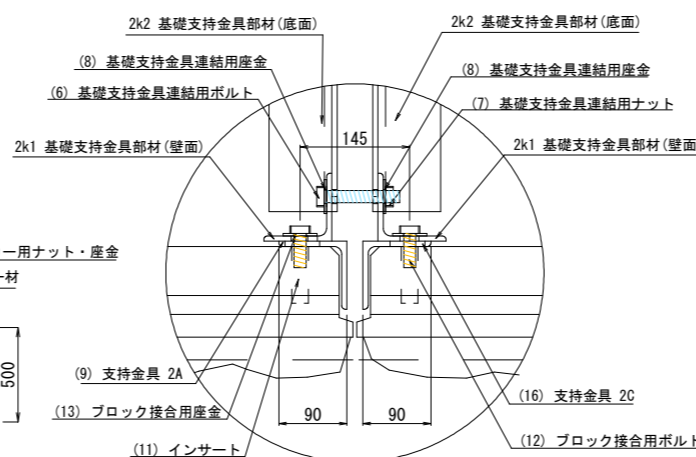
※設計部材厚は150mmとする。

B-B断面図



※設計部材厚は150mmとする。

A部拡大図 S=1:5



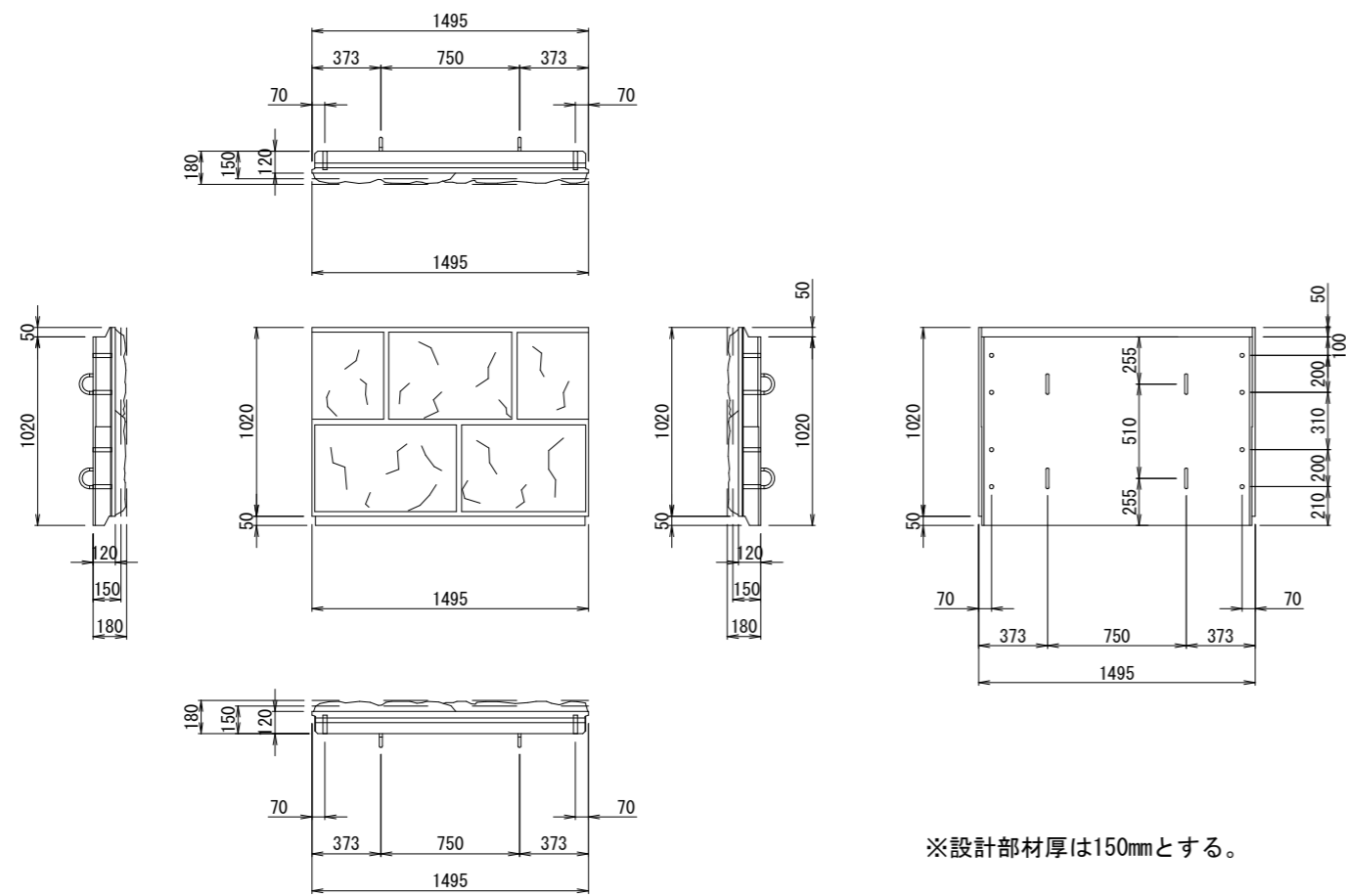
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 下流外部保護材標準図①		
図面番号	13-1	縮尺	図示

コンクリートブロック規格図 S=1:40

(1:0.2)

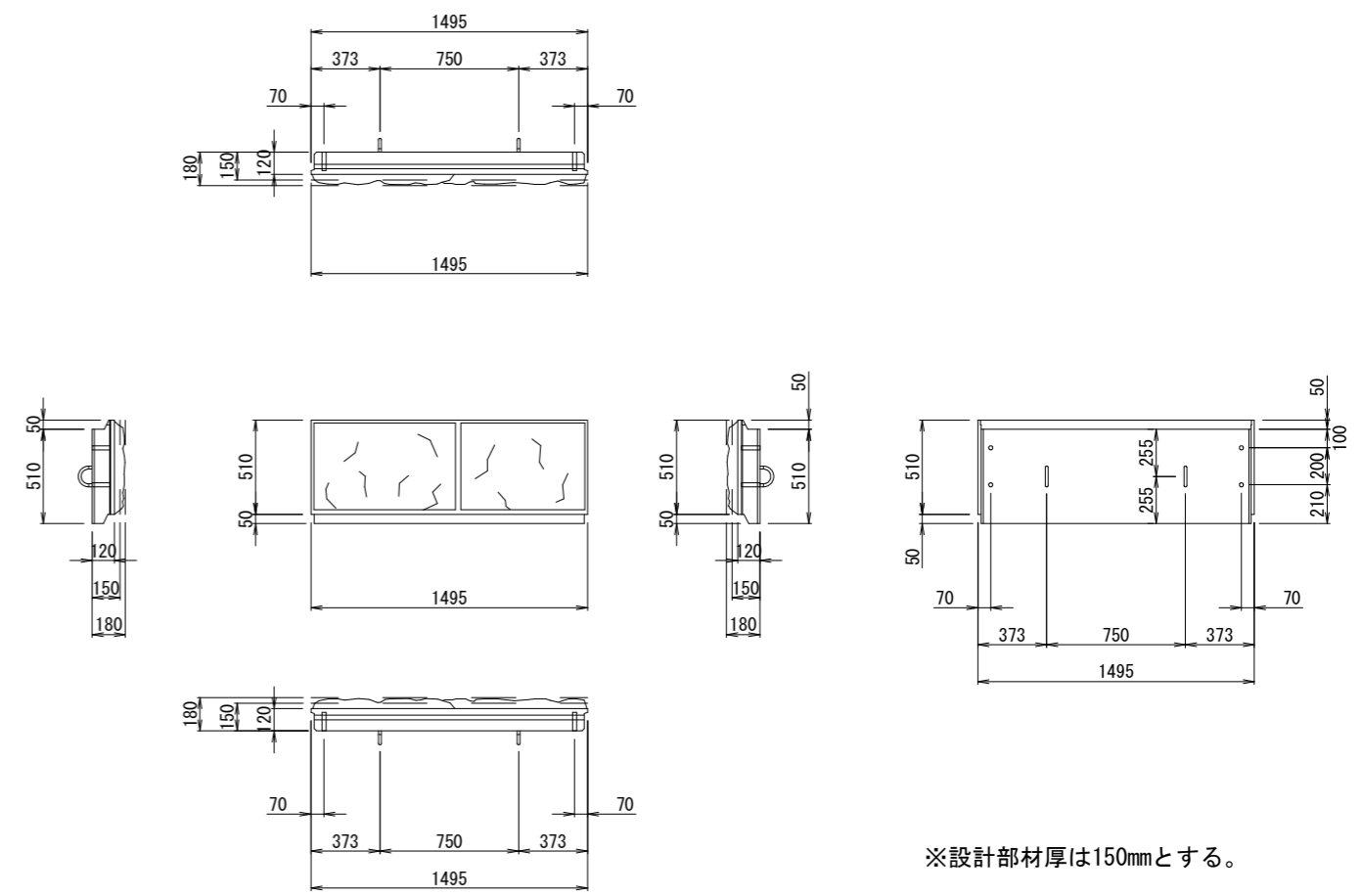
(表記単位:mm)

石積模様タイプ標準部(18-2GA)



※設計部材厚は150mmとする。

石積模様タイプ標準部(18-2GB)



※設計部材厚は150mmとする。

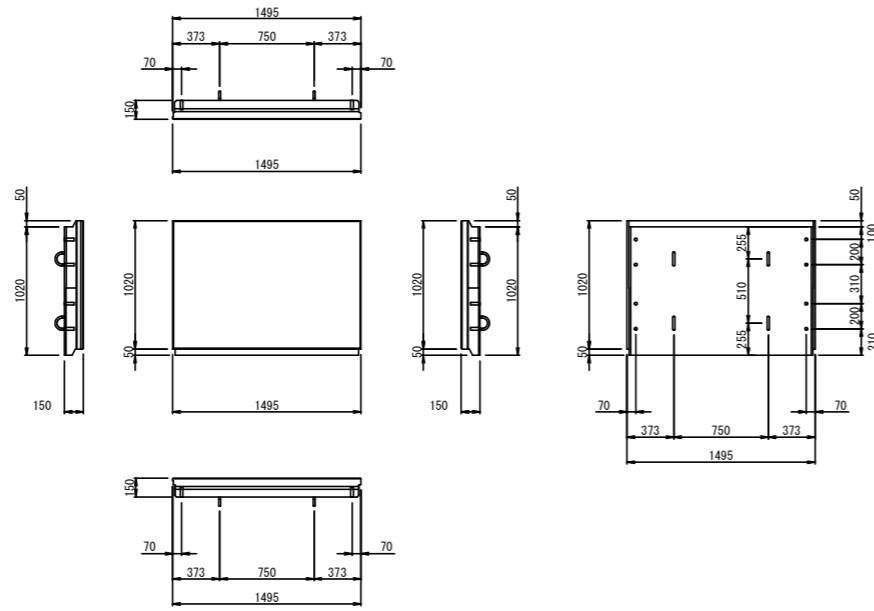
図面名	第5号ソイルセメント谷止工 コンクリートブロック規格図		
図面番号	14-1	縮尺	図示

コンクリートパネル規格図 S=1:30

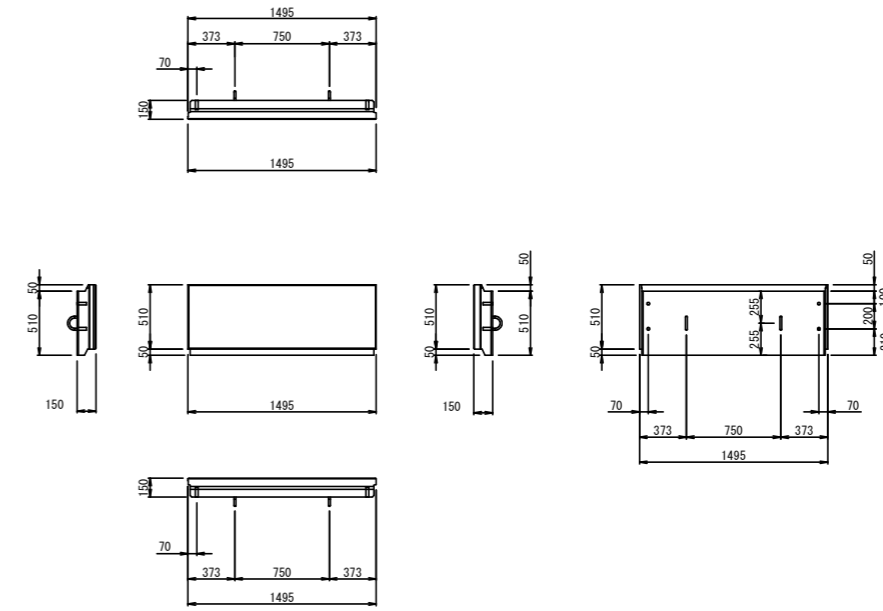
(1:0.2)

(表記単位: mm)

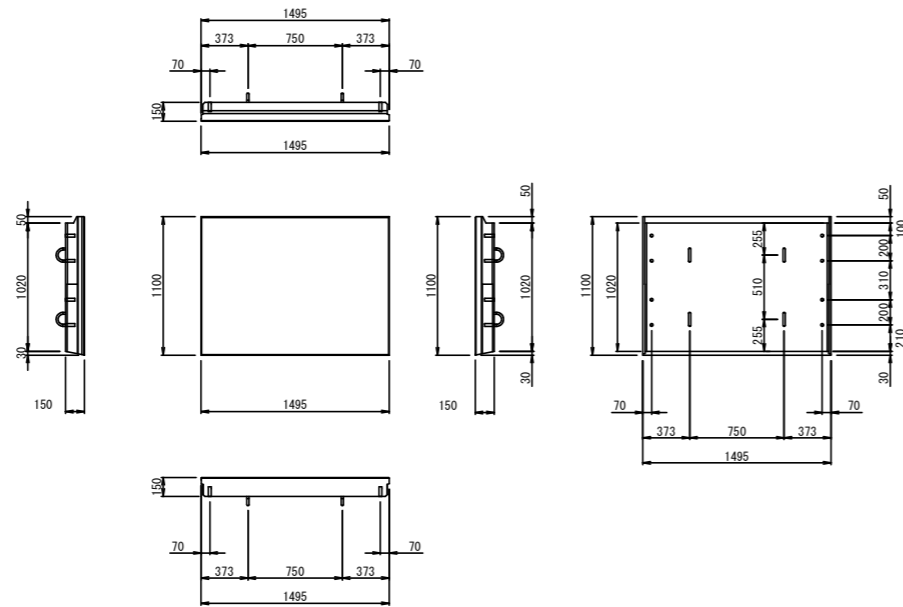
滑面タイプ標準部 (15-2NA)



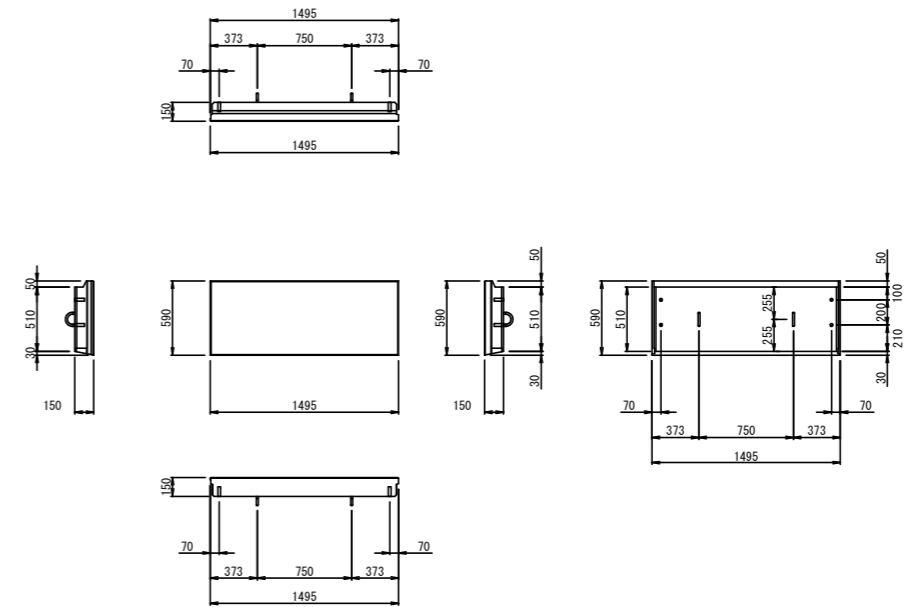
滑面タイプ標準部 (15-2NB)



滑面タイプ基礎部 (15-2NC)



滑面タイプ基礎部 (15-2ND)

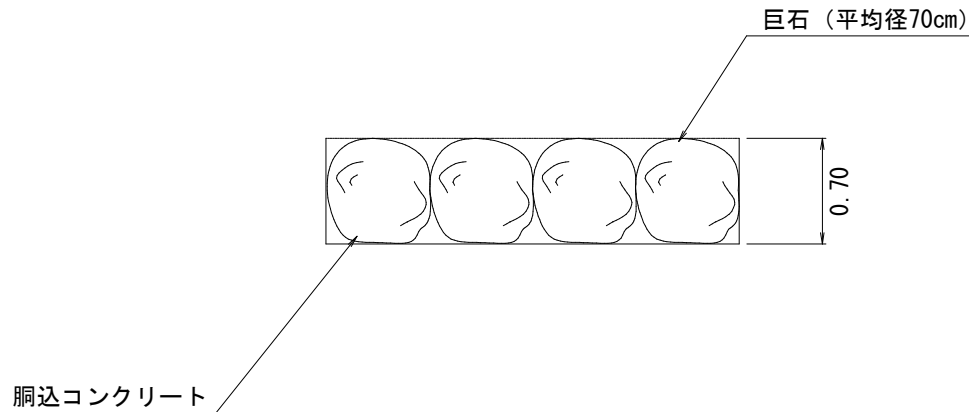


図面名	第5号ソイルセメント谷止工 コンクリートブロック規格図		
図面番号	14-2	縮尺	図示

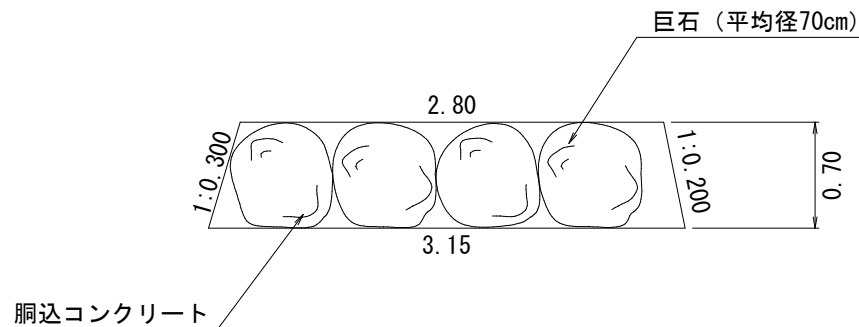
巨石練石張工 詳細図

S=1/50

正面図



側面図



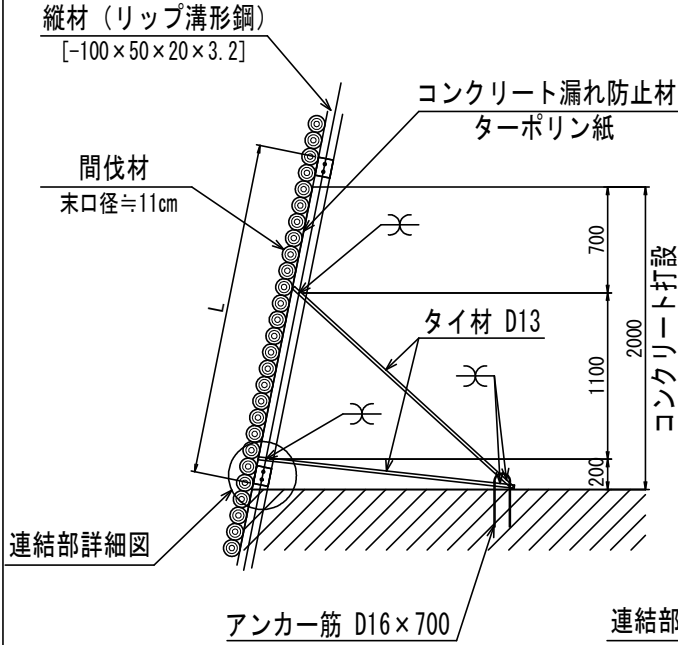
巨石練石張 材料明細票 (幅1m当たり)				
	規格寸法	数量	単位	備考
巨石	径70cm程度	6.6	個	
胴込コンクリート	18-8-40BB	0.90	m ³	
摘要	算 出 根 拠			
	巨石体積 (V) : $3.1416 \times 0.7^3 \div 6 = 0.17959 \text{ m}^3/\text{個}$			
	占有面積 (A') : $3^0.5 \div 2 \times 0.7^2 = 0.42435 \text{ m}^2/\text{個}$			
	基本個数 (N) : $2.8 \times 1 \div 0.42435 = 6.6 \text{ 個}$			
胴込コンクリート (n) : $(2.80 + 3.15) \div 2 \times 0.70 - 0.17959 \times 6.6 = 0.90\text{m}^3$				

図面名	第5号ソイルセメント谷止工 巨石練石張工 詳細図		
図面番号	15	縮尺	図示

丸太残存型枠工 標準図

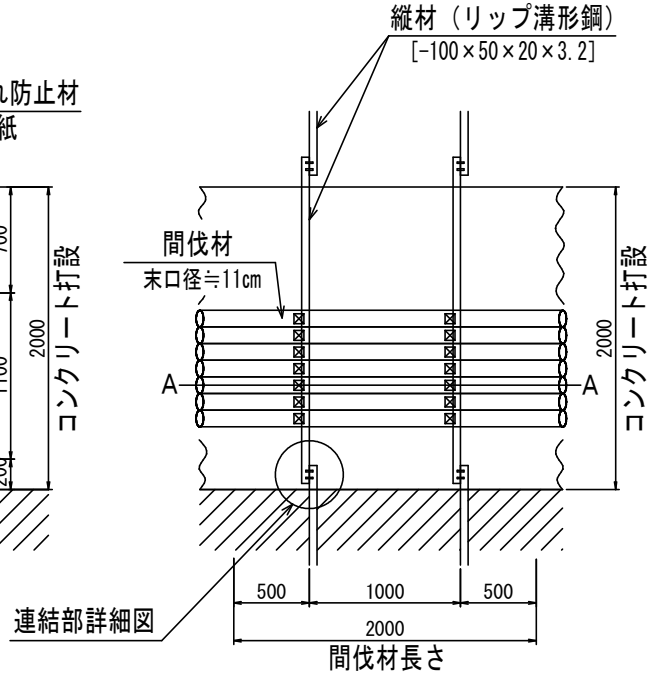
断面図

S=1/50



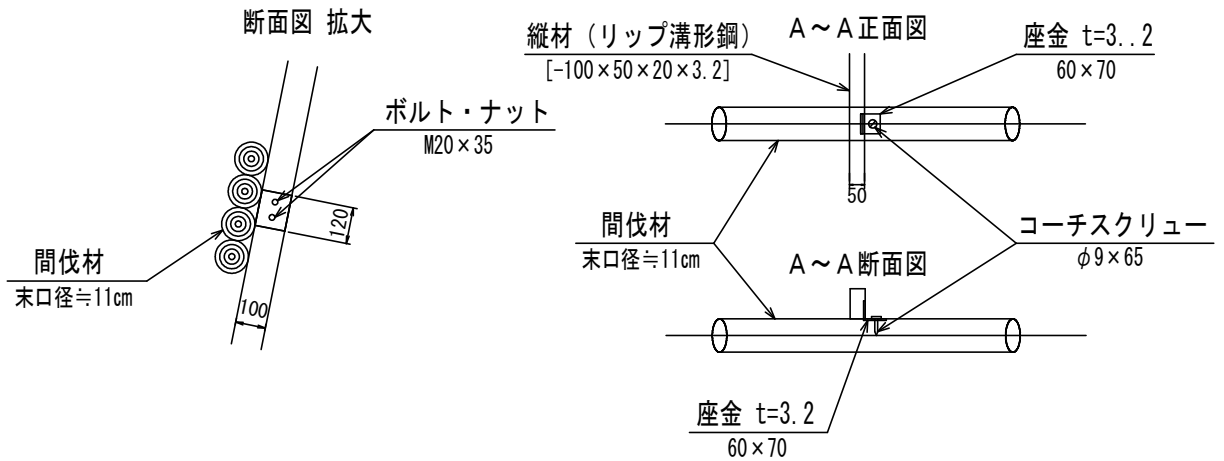
正面図

S=1/50



連結部詳細図

S=1/25

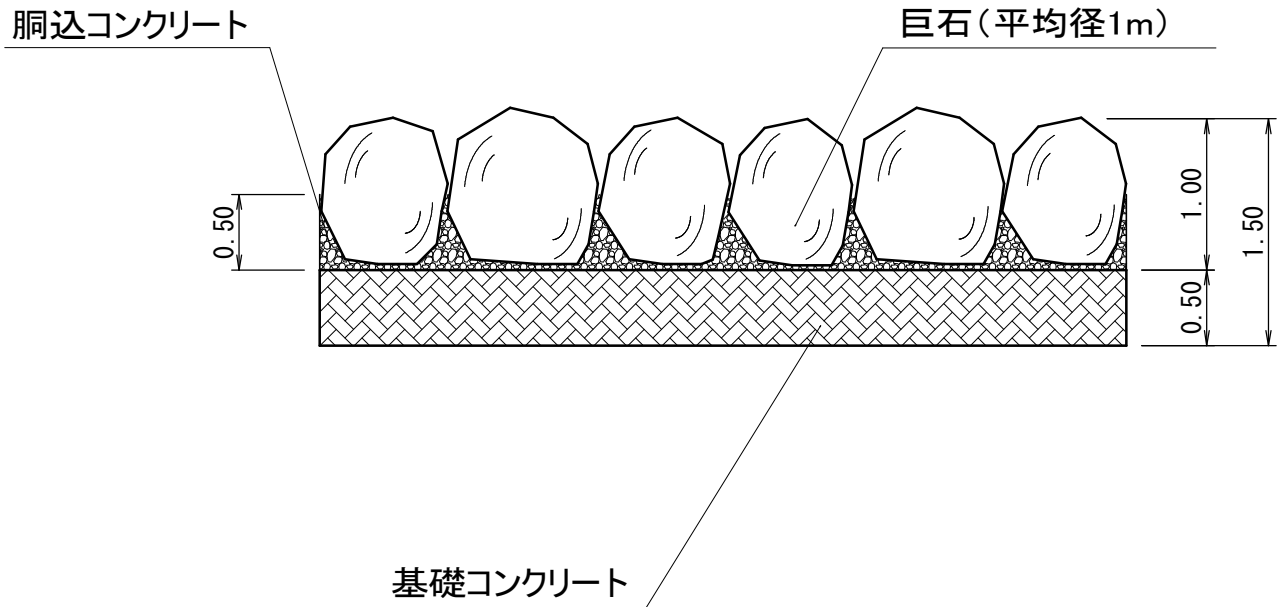


図面名	丸太残存型枠工 標準図		
図面番号	16	縮尺	図示

巨石護床工 標準図

S=1/50

断面図



種別	規格寸法	数量	単位	備考
巨石	径1m程度	10.0	m ²	現地採取 10m ² 当たり11.5個使用
胴込コンクリート	18-8-40BB	1.99	m ³	
基礎コンクリート	18-8-40BB	5.00	m ³	
摘要	胴込コンクリート(10m ² 当たり)算出根拠			
	巨石体積(V) : $3.1416 \times 1.00^3 / 6 = 0.52360 \text{ m}^3 / \text{個}$ 占有面積(A') : $3 \times 0.5 / 2 \times 1.00^2 = 0.86603 \text{ m}^2 / \text{個}$ 基本個数(N) : $10 / 0.86603 = 11.5 \text{ 個} / 10 \text{ m}^2$ 胴込コンクリート(n) : $(10 \times 1.00 - 0.52360 \times 11.5) / 2 = 1.99 \text{ m}^3$			

図面名	巨石護床工 標準図		
図面番号	17	縮尺	図示